

第6次青梅市総合長期計画実施計画

平成30年度取組状況報告書

みどりと清流、歴史と文化、ふれあいと活力のまち 青梅

— ゆめ ・ うめ ・ おうめ —

青 梅 市

目次

本報告書について	1
第1章 安全で快適に暮らせるまち	2
第2章 自然と共生し環境にやさしいまち	12
第3章 次代を担う子どもをみんなで育むまち	18
第4章 文化・交流活動がいきづくまち	26
第5章 みんなが元気で健康なまち	30
第6章 福祉が充実したまち	34
第7章 活気ある産業で雇用が生まれるまち	40
第8章 都市基盤が整う魅力あるまち	48
第9章 みんなが参画し協働するまち	56
第10章 持続的な行財政運営ができるまち	60
重要業績評価指標(KPI)の進ちょく状況	64
施策連動型のしくみ	66

本報告書について

第6次青梅市総合長期計画の実施計画は、総合長期計画の基本計画に掲げた諸施策にもとづいて取り組む主要事業について、3か年の年次計画を明らかにし、毎年度の予算編成や事務執行の指針とするものです。

本報告書では、実施計画に掲げた事業（青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付ける事業も含む）について、平成30年度の取組状況をまとめています。

なお、第6次青梅市総合長期計画で掲げたまちづくりの指標および青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した重要業績評価指標（KPI）についても、把握できる最新の値にもとづいて、とりまとめています。

各事業の取組状況 記載例

平成30年度事業計画の取組状況について、簡潔にまとめて記載。
（事業費を千円単位で記載）

平成30年度事業の成果について、簡潔にまとめて記載。

事業番号	1-1	事業名	青梅市地域防災計画の修正		
平成30年度事業計画		平成30年度取組状況（事業費）	平成30年度事業成果		
・計画の推進・検証 （必要に応じて修正）		熊本地震の教訓、国・東京都の防災対策への対応および組織改正を反映した地域防災計画の修正を行い、関係機関等へ配布した。 (388千円)	国・東京都の防災対策への対応等を反映した地域防災計画の修正を行い、計画の実効性の確保を図った。 また、ホームページで修正した計画を公開した。		

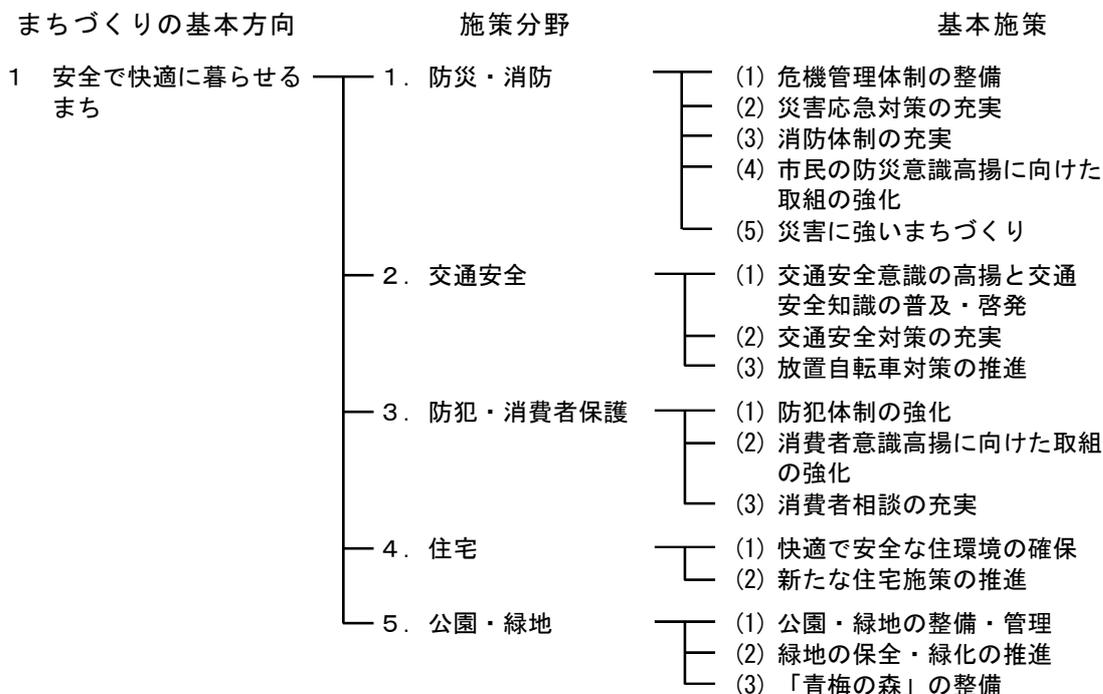
※事業概要、事業の推進目標、事業費は別冊「第6次青梅市総合長期計画実施計画（平成30年度～平成32年度）」（平成30（2018）年3月作成）で確認できます。

まちづくりの指標・重要業績評価指標（KPI） 記載例

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
総合防災訓練・各地区防災 訓練の参加者数	人	5,209	4,419	5,658	6,200
		H14年度	H24年度	H30年度	R4年度

第1章 安全で快適に暮らせるまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
総合防災訓練・各地区防災訓練の参加者数	人	5,209	4,419	5,658	6,200
		H14年度	H24年度	H30年度	R4年度
計画期間中における土砂災害対応訓練・水防訓練の延べ参加者数	人	—	629	5,291	5,300
		—	H24	H25～H30	H25～R4
家具転倒防止器具等助成事業にかかる支給率	%	2.36	13.84	15.52	20.00
		H22.3.31	H25.3.31	H31.3.31	R2.3.31
火災発生件数	件	68	63	32	0
		H14年度	H24年度	H30年度	R4年度
交通事故による年間の死傷者数	人	1,209	791	470	H24から半減
		H14	H24	H30	R4
みどり率	%	80.9	80.3	79.8	80.3
		H15	H20	H25	R5

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 防災・消防			
1-1	青梅市地域防災計画の修正	(1)	
1-2	業務継続計画の推進	(1)	
1-3	避難所機能の強化	(2)	
1-4	消防団の充実	(3)	●
1-5	消防機材等の整備	(3)	
1-6	市民防災ハンドブックの活用推進	(4)	
1-7	土砂災害対策の充実	(4)	
1-8	地区防災計画の推進	(4)	●
1-9	避難行動要支援者支援対策の推進	(4)	
1-10	防災リーダーの育成	(4)	●
1-11	家具転倒防止器具等支給取付事業	(4)	
1-12	防災行政無線の整備	(5)	
2. 交通安全			
1-13	青梅交通安全協会の活動支援	(1)	
3. 防犯・消費者保護			
1-14	安全・安心な学校づくりの推進事業	(1)	●
1-15	消費者保護の充実	(3)	
4. 住宅			
1-16	市営住宅長寿命化計画の推進	(1)	
1-17	課題のある市営住宅の撤去事業	(1)	
1-18	木造戸建住宅耐震化事業	(1)	
1-19	緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業	(1)	
1-20	新たな住宅施策の推進	(2)	●
1-21	空家対策事業	(2)	●
5. 公園・緑地			
1-22	公園施設長寿命化計画の推進	(1)	
1-23	釜の淵緑地の整備	(1)	
1-24	緑の基本計画の推進	(2)	
1-25	青梅の森事業計画の推進	(3)	

事業番号	1-1	事業名	青梅市地域防災計画の修正
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> 計画の推進・検証 (必要に応じて修正) 	<p>熊本地震の教訓、国・東京都の防災対策への対応および組織改正を反映した地域防災計画の修正を行い、関係機関等へ配布した。また、ホームページで修正した計画を公開した。</p> <p>(388 千円)</p>	<p>国・東京都の防災対策への対応等を反映した地域防災計画の修正を行い、計画の実効性の確保を図った。</p> <p>また、ホームページで修正した計画を公開した。</p>	

事業番号	1-2	事業名	業務継続計画の推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> 業務継続計画にもとづく訓練、検証 	<p>総合防災訓練時に、職員参集(情報伝達)訓練を実施した。</p> <p>(0 円)</p>	<p>初動体制等の確認、検証とともに、業務継続に関する意識高揚を図った。</p>	

事業番号	1-3	事業名	避難所機能の強化
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> 備蓄食料、飲料水の購入 応援協定の拡充 	<p>備蓄食料、飲料水を購入するとともに、地図製品の供給など民間企業等との災害時応援協定（3件）を締結した。</p> <p>(4,537 千円)</p>	<p>備蓄の確保とともに更新対象の食料を各地区防災訓練で活用し、備蓄の重要性の周知を図った。</p> <p>災害応援協定を拡充し、災害対応体制の充実を図った。</p>	

事業番号	1-4	事業名	消防団の充実
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> 女性団員の運用 機能別団員制度の運用 協力事業所制度の運用 健康診断の実施 	<p>女性団員および機能別団員制度の運用ならびに協力事業所表示証の交付や健康診断を実施した。</p> <p>(1,930 千円)</p>	<p>女性団員の防災教育による防災意識向上と機能別団員による消防力の維持を図った。また、健康診断により団員の健康増進を図った。</p>	

事業番号	1-5	事業名	消防機材等の整備
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・小型動力ポンプの更新（平成5～8年度導入3台） ・消防器具置場の改修および修繕（第6分団第4部、第8分団第4部） ・デジタル無線機賃貸借 	<p>老朽化した小型動力ポンプ3台を更新した。 消防器具置場の改修および修繕を行った。 消防団デジタル無線の賃貸借を行った。</p> <p style="text-align: center;">(8,713千円)</p>		<p>ポンプの更新、器具置場の改修等を実施し、消防装備等の充実を図ったほか、デジタル無線を活用し、円滑な団活動の運用を図った。</p>

事業番号	1-6	事業名	市民防災ハンドブックの活用推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・市民防災ハンドブックの周知・活用 ・転入者への配付 	<p>市民防災ハンドブックを増刷し、転入者へ配付を行った。</p> <p style="text-align: center;">(567千円)</p>		<p>転入者へ配付することで、防災意識の啓発を図った。</p>

事業番号	1-7	事業名	土砂災害対策の充実
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップ作成方法の検討 ・土砂災害対応訓練の実施 	<p>土砂災害ハザードマップ更新に向けた検討を行った。 また、土砂災害対応訓練を実施した。</p> <p style="text-align: center;">(51 千円)</p>		<p>土砂災害対応訓練を通して、市民の防災意識高揚を図った。</p>

事業番号	1-8	事業名	地区防災計画の推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・地区防災計画にもとづく訓練、検証 	<p>市内各地区において地区防災計画にもとづく訓練を実施した。</p> <p style="text-align: center;">(0円)</p>		<p>市内各地区において、地区防災計画にもとづく訓練を行い、防災意識の高揚を図った。</p>

事業番号	1-9	事業名	避難行動要支援者支援対策の推進	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援登録者の抽出 ・新規登録者の同意確認 ・関係機関への協力依頼 ・支援体制の構築 		避難行動要支援者名簿登録対象者を抽出し、対象者の同意確認を行うとともに名簿を作成し、避難支援等関係者へ提供した。 (2,418 千円)	各避難支援等関係者で名簿情報の共有を図った。	

事業番号	1-10	事業名	防災リーダーの育成	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダーの育成 ・防災リーダー講習会の実施 		「防災士」の資格取得に対し交付金を交付するとともに防災リーダー講習会を開催した。 (549 千円)	防災士の資格を8名が取得したほか、防災リーダー講習会を開催し、防災リーダーの育成を図った。	

事業番号	1-11	事業名	家具転倒防止器具等支給取付事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・器具等の支給および取付け 		対象世帯に対し、支給取付を行った。 (1,629 千円)	家具転倒防止対策への理解を図るとともに、103 世帯に器具の支給取付を行った。 (15.52%)	

事業番号	1-12	事業名	防災行政無線の整備	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・個別簡易受信機の導入（難聴地区対策） ・維持管理 		土砂災害警戒区域内の難聴地区対策として、簡易受信機システムを整備した。 (3,590 千円)	土砂災害警戒区域内の難聴地区対策として、沢井・御岳地区に簡易受信機システムによる防災行政無線の受信環境を整備した。	

事業番号	1-13	事業名	青梅交通安全協会の活動支援
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 交通安全意識の普及、啓発 街頭指導等への支援 青梅交通安全協会支援のあり方の検討 	交通安全のつどいなどの交通安全啓発活動や各地域で行った交通安全講習会や各種街頭指導（春と秋の交通安全運動、毎月の交通安全日等）の活動に対し支援を行った。 (9,619 千円)		交通安全講習会では、566人の市民が参加し、交通安全意識の普及および啓発を行うことができた。 また、各種街頭指導等により、交通安全の向上に寄与した。

事業番号	1-14	事業名	安全・安心な学校づくりの推進事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 通学路および校内防犯カメラの設置 子ども110番の家の整備 防犯ブザーの給付 	小学校5校に通学路防犯カメラを設置し、中学校10校の校内防犯カメラを更新した。青梅子ども110番の家は継続・募集のほか、青梅警察署主導の駆け込み訓練を実施した。防犯ブザーを給付した。(12,796千円)		通学路への防犯カメラ設置により、犯罪抑止に大きな効果があった。校内カメラの更新により画像の鮮明度が上がり人物特定が容易になった。駆け込み訓練等により防犯意識の高揚が図れた。

事業番号	1-15	事業名	消費者保護の充実
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 消費者相談の実施 消費生活相談員のスキルアップ 特殊詐欺等消費者被害防止 	消費者相談の実施および消費生活相談員がスキルアップのため、各種研修へ参加した。また、特殊詐欺被害防止機器の貸与等、消費者被害の防止を図った。 (2,962 千円)		消費生活相談員の補充および研修への参加により、相談体制の充実および相談員スキルアップを図った。啓発チラシ等の配布や自動通話録音機の貸与により、消費者被害防止につなげた。

事業番号	1-16	事業名	市営住宅長寿命化計画の推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 千ヶ瀬第3住宅2号棟耐震・二方向・給排水・外壁・電気設備等改修工事 	千ヶ瀬第3住宅2号棟の耐震補強工事、二方向避難、外壁、屋上防水、給排水設備、電気設備に関する改修工事を実施した。 (67,153 千円)		耐震性能が基準値以上の数値となる (IS 値 0.58→0.62) など、住宅の安全性や快適性が向上した。

事業番号	1-17	事業名	課題のある市営住宅の撤去事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住者との交渉 ・ 5戸の移転 	居住者との交渉により3世帯の移転が完了した。 東青梅住宅・梅園第2住宅の解体工事（2棟、5戸）を実施した。 （8,594千円）		用途廃止住宅の解体工事により、近隣の防犯対策や防災対策が図れたと共に、解体後の土地の利活用へもつながった。

事業番号	1-18	事業名	木造戸建住宅耐震化事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震診断補助 10件 ・ 耐震改修補助 5件 	木造住宅の耐震化や補助制度について広報等で周知を図り、耐震診断5件、耐震改修2件に対し補助金を交付した。 （1,275千円）		木造戸建住宅の耐震化を図ることにより安全性の向上に貢献した。

事業番号	1-19	事業名	緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震補強設計補助 1件 ・ 耐震改修補助 1件 	東京都が指定する特定緊急輸送道路沿道建築物の所有者に対し耐震改修についての説明等を行った。 （6千円）		市内にある特定緊急輸送道路沿道建築物の未耐震化物件数は18件のまま変更ない状況であったが、当該物件の所有者には事業説明等を継続して行った。

事業番号	1-20	事業名	新たな住宅施策の推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者による情報交換・協議等 ・ 住宅マスタープラン策定に向けた調査研究 	住宅施策推進協議会（4回）を開催したほか、住宅なんでも相談会および定例住宅相談会（計12回）を開催した。 （4,755千円）		住宅施策推進協議会にて、住宅マスタープランにもとづく住宅施策を協議・検討し推進できた。 各種相談会の件数が増加し、市民の住宅関連問題の解決の一端を担うことができた。

事業番号	1-21	事業名	空家対策事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 空家バンクの促進 空家改修補助の実施 パンフレットの作成 	<p>「青梅市空家等対策計画」にもとづき、空家対策を実施した。空家バンクを促進した結果、新規の登録件数が1件追加となった。空家等活用支援事業のPRを行った。</p> <p>(196千円)</p>		<p>管理不全な空家の所有者に対する措置を行い、特定空家の解消に向けて前進した。空家バンクへの新規登録が1件あり、空家活用の取組が進んだ。</p>

事業番号	1-22	事業名	公園施設長寿命化計画の推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の改築等 	<p>公園施設長寿命化計画にもとづき、老朽化した公園施設の更新および修繕等を実施した。大井戸公園ほか3公園の遊具の一部更新。わかぐさ公園施設（健康遊具、ポップジェット噴水）の整備等。（50,491千円）</p>		<p>利用者ニーズを考慮した遊具や親水施設の更新・整備、部材交換および塗装を実施したことにより、安全性の確保と、美観の保全・向上による快適な空間の提供など、公園環境の改善を図ることができた。</p>

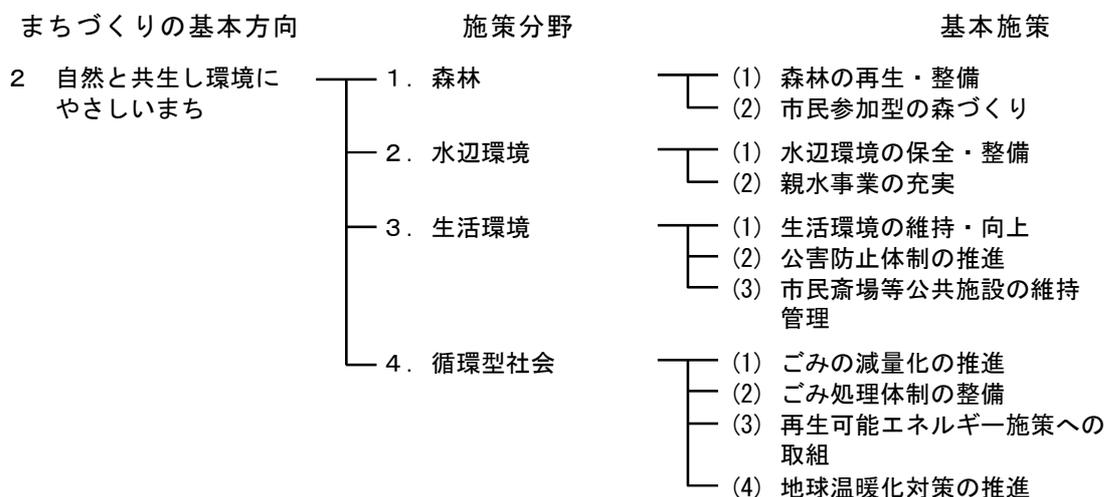
事業番号	1-23	事業名	釜の淵緑地の整備
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 整備計画の検討 	<p>青梅市公共施設等総合管理計画の進捗状況との整合を考慮しつつ、庁内での調整を図った。</p> <p>(0円)</p>		<p>整備計画の検討に向け、庁内での調整を図り、当該整備にかかる方向性を整理した。</p>

事業番号	1-24	事業名	緑の基本計画の推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 庁内連絡委員会の開催 計画の推進および進捗管理 	<p>計画に即するよう、個別施策に関係する部署24課に対して、取組状況の調査を実施し取りまとめ、「青梅市みどりの連絡委員会」設置要綱にもとづき、連絡委員会を9月に開催した。</p> <p>(0円)</p>		<p>取組状況調査を実施し、連絡委員会を開催し、それぞれの計画に対する進捗状況や、問題点の認識を深め、今後の計画推進に役立てることができた。</p>

事業番号	1-25	事業名	青梅の森事業計画の推進
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・間伐 ・生物多様性保全の実施 ・運営協議会の開催 		<p>青梅の森事業計画にもとづき、外来種対策や支障木の伐採等の保全事業、斜面保護工事および景観整理伐採の整備事業に取り組んだ他、青梅の森運営協議会等を開催した。</p> <p style="text-align: center;">(48,678 千円)</p>	<p>保全面では、自然環境調査、外来種対策等を実施し青梅の森の自然環境の保全に努めた。整備面では、危険な斜面地に対する対策工事等を行うことで、青梅の森周辺の安全の確保を図った。</p>

第2章 自然と共生し環境にやさしいまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
森林再生事業による間伐と 枝打ちの促進	ha	80.70	861.43	1,329.71	1,855
		H15.3.31	H25.3.31	H31.3.31	R5.3.31
多摩川の水質汚濁度 (BOD※)	mg/l	御岳橋 0.5 多摩川橋 0.5	御岳橋 0.5 多摩川橋 0.5	御岳橋 0.5 多摩川橋 0.6	御岳橋 0.5 多摩川橋 0.5
		H14年度	H24年度	H30年度	R4年度
1人1日当たりの燃やすご み排出量	g	593	567	551	510
		H15.3.31	H25.3.31	H31.3.31	R5.3.31
公共施設による太陽光発電 能力	kW	30	40	291.64	1,000
		H22.7	H25.3.31	H31.3.31	R5.3.31

※BODとは、生物化学的酸素要求量(Biochemical Oxygen Demand)のことで、微生物が、水中の有機物を二酸化炭素や水などに分解するため必要とする酸素の量です。河川の汚濁の度合いを示す代表的な数値であり、生活環境の保全に関する環境基準では、御岳橋で1mg/l以下、多摩川橋で2mg/l以下とされています。

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 森林			
2-1	森林整備事業	(1)	●
2-2	森林ボランティア育成事業	(2)	●
2. 水辺環境			
2-3	親水施設整備事業	(1)	
2-4	親水事業の推進	(2)	
3. 生活環境			
2-5	飼い主のいない猫対策事業	(1)	
2-6	環境基本計画の策定・推進	(1)	
2-7	し尿処理施設の長寿命化事業	(3)	
2-8	青梅市墓地公園の合葬式墓地造成事業	(3)	
4. 循環型社会			
2-9	生ごみ堆肥化推進事業	(1)	
2-10	ごみの排出抑制と資源化推進事業	(1)	
2-11	ごみ減量講座と施設見学会事業	(1)	
2-12	新エネルギー利用等促進事業	(3)	

事業番号	2-1	事業名	森林整備事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・間伐および枝打ちの実施	間伐 75.95ha、枝打ち 11.29ha を実施した。 (73,735 千円)		新規間伐に加えて初回の間伐から 12～13 年目を迎えた森林を対象に 2 回目の間伐を実施した。また、すでに本事業で間伐を行った森林を対象に、枝打ちを行い、適切な森林整備を進めた。

事業番号	2-2	事業名	森林ボランティア育成事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・第 9 期講座の 1 年目として基礎編を行う。	森林ボランティア育成講座を 6 回実施した。 (952 千円)		第 9 期講座の 1 年目として座学、実習山林や多摩産材活用施設の見学、竹林間伐、炭焼き、植林等を実施し、ボランティアの育成に努めた。

事業番号	2-3	事業名	親水施設整備事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・基本構想の検討	関係課において親水施設整備検討の方向性について、研究、課題整理等を行った。 (0 千円)		釜の淵公園水泳場周辺の活用について、国交省実施の研修会においてテーマとして研究するなど、関係課で協力し検討を続けた。

事業番号	2-4	事業名	親水事業の推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・体験型および学習型事業の実施	おうめ水辺の楽校運営協議会を構成する市民団体と協働して、市内各所で親水事業を 7 回開催した。 (1,052 千円)		様々な自然体験学習を実施するとともに、川で安全に活動するための学習も実施し、川と親しむ機会づくりを促進した。

事業番号	2-5	事業名	飼い主のいない猫対策事業
平成30年度事業計画	平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）	平成30年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 飼い主のいない猫対策事業の補助金交付 ・ 協働による里親会実施 ・ さくらねこ無料不妊手術事業参加 	<p>協働による里親会や動物愛護週間に合わせて映画上映会等のイベントを実施するとともに、飼い主のいない猫対策を実施しているボランティア団体に対し、補助金を交付した。</p> <p>(228 千円)</p>	<p>市民団体と協働の里親会、動物愛護週間イベント in おうめ、映画上映会、動物愛護パネル展示等の事業を実施し、飼い主のいない猫対策事業を推進した。</p>	

事業番号	2-6	事業名	環境基本計画の策定・推進
平成30年度事業計画	平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）	平成30年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境基本計画の推進 ・ 生物多様性地域戦略の策定・推進 	<p>環境審議会、環境連絡会を開催した。また、生物多様性保全協議会および生物多様性地域戦略検討委員会を開催し、生物多様性地域戦略を策定した。</p> <p>(4,047千円)</p>	<p>計画にもとづく各種施策を推進するとともに、生物多様性地域戦略を策定し、環境基本計画を推進した。</p>	

事業番号	2-7	事業名	し尿処理施設の長寿命化事業
平成30年度事業計画	平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）	平成30年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹的設備改良工事 ・ 工事監理委託 	<p>長寿命化計画にもとづく基幹的設備改良工事を平成29年度、平成30年度の2か年で実施した。</p> <p>(505,452 千円)</p>	<p>長寿命化計画にもとづく基幹的設備改良工事が完了し、施設の延命化が図られるとともに、し尿に加え浄化槽汚泥の処理が可能となったことにより処理の効率化が図られた。</p>	

事業番号	2-8	事業名	青梅市墓地公園の合葬式墓地造成事業
平成30年度事業計画	平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）	平成30年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 青梅市墓地公園に樹林墓地等を整備 	<p>合葬式墓地エリア内の構造物等撤去、合葬式墓地（無縁墓地）1基の整備および合葬式墓地に隣接する階段の改修を実施した。</p> <p>(7,290 千円)</p>	<p>合葬式墓地エリアの構造物等撤去により、平成31年度工事の工期を短縮した。また、階段の改修により、参拝者の安全確保が達成できた。</p>	

事業番号	2-9	事業名	生ごみ堆肥化推進事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の実施 ・ダンボールコンポストの啓発 		生ごみ堆肥化講習会を開催し、生ごみ堆肥化の普及・啓発を行った。 (34 千円)		生ごみ堆肥化を推進することにより、生ごみの資源循環を促進し、燃やすごみの減量を進めた。

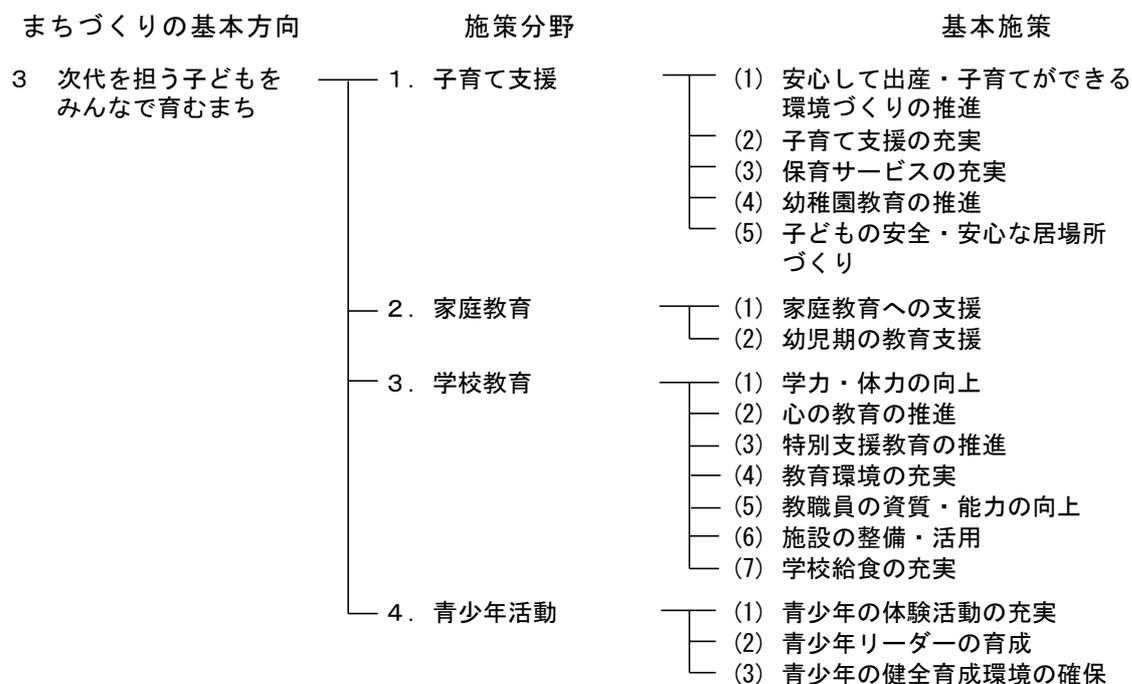
事業番号	2-10	事業名	ごみの排出抑制と資源化推進事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量推進運動 ・集団回収報奨金の見直し ・広報等ごみ減量啓発 		産業観光まつりや河辺、東青梅、青梅駅においてごみ減量推進運動を展開するとともに、集団回収の推進、広報等によるごみ減量啓発を行った。 (52, 595 千円)		雑がみ収集袋の全戸配布、紙ひもの希望者への配布により紙類のさらなる分別と資源化を推進した。また、広報等により市民のごみ減量に対する意識を高めた。

事業番号	2-11	事業名	ごみ減量講座と施設見学会事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 ・講演会の実施 ・施設見学会の実施 		計画に即して講演会（2 回）、出前講座（7 回）、施設見学会（2 回）を実施した。 (226 千円)		講演会等を実施することで、多くの市民にごみ減量や分別、リサイクルについての啓発を行うことができた。

事業番号	2-12	事業名	新エネルギー利用等促進事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の屋根貸し事業の実施 ・木質バイオマスの調査研究 		公共施設の屋根貸し事業を実施した。また、環境審議会でも木質バイオマスに関する審議を行った。 (0 千円)		屋根貸し事業については、2 事業者で合計 5 施設において実施し、再生可能エネルギーの利用促進を図った。また、今後の木質バイオマスに対する取組みの方向性について、課題整理等を行った。

第3章 次代を担う子どもをみんなで育むまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
保育所待機児童数 ○	人	161	19	4	0
		H15. 4. 1	H25. 4. 1	H31. 4. 1	R5. 4. 1
学童保育所待機児童数 ○	人	65	41	73	0
		H15. 4. 1	H25. 4. 1	H31. 4. 1	R5. 4. 1
放課後子ども教室(夕やけ ランド)の実施校数	校	1	6	15	16
		H20. 3. 31	H25. 3. 31	H31. 3. 31	R4. 3. 31

※○は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(KPI)と共通の指標

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 子育て支援			
3-1	子ども・子育て支援事業計画の推進	(1)	
3-2	子育て支援事業	(2)	●
3-3	子育て世代包括支援事業	(2)	●
3-4	ファミリー・サポート・センター事業	(2)	
3-5	学童保育事業	(3)	●
3-6	短期臨時学童保育事業	(3)	●
3-7	保育所等施設整備事業	(3)	●
3-8	放課後子ども教室事業	(5)	●
2. 家庭教育			
3-9	家庭教育啓発事業	(1)	
3. 学校教育			
3-10	学力向上事業	(1)	●
3-11	学びと心の育成事業	(1)	
3-12	児童生徒の学校適応体制の充実	(2)	
3-13	特別支援教育事業	(3)	
3-14	学校教材・備品の整備	(4)	
3-15	教育の情報化推進事業	(4)	●
3-16	小・中学校校舎トイレ改修事業	(6)	
3-17	学校施設の個別施設計画事業	【新規】 (6)	
3-18	調理場統合の検討	(7)	
4. 青少年活動			
3-19	体験活動の充実	(1)	●
3-20	若者の自立等支援事業	(3)	
3-21	青少年健全育成事業	(3)	●

事業番号	3-1	事業名	子ども・子育て支援事業計画の推進
平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）	平成30年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催（年5回） ・計画にもとづく事業の推進 ・次期計画策定のためのニーズ調査 	<p>青梅市子ども・子育て会議を7回開催し、検証結果を報告するとともに、認可保育所の新規開設および幼稚園の認定こども園への移行について諮問し検討を重ねた。</p> <p>(2,838千円)</p>	<p>前年度の検証結果を検討し、認可保育所の開設、幼稚園の認定こども園への移行の可否について答申を受けた。次期青梅市子ども・子育て支援事業計画策定にかかるニーズ調査を実施し、40.5%の回答を得た。</p>	

事業番号	3-2	事業名	子育て支援事業
平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）	平成30年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業および子育てひろば事業等の実施 ・交通機関利用児童等通学費等補助事業の実施 	<p>子育て支援事業および子育てひろば事業は、子育て支援センター等で実施した。</p> <p>市内小中学校へ公共交通機関を利用して通学する児童等の保護者に対して、通学費を補助した。</p> <p>(50,454千円)</p>	<p>子育て支援事業等の実施により、親子の遊びの場と交流の場を提供することができた。</p> <p>通学費補助事業の実施により、小中学校に通う児童等の保護者の負担が軽減された。</p>	

事業番号	3-3	事業名	子育て世代包括支援事業
平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）	平成30年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て総合相談の実施 ・子育て支援情報の提供 ・子育て支援センターの管理運営 ・訪問員による家庭訪問 	<p>子ども家庭支援センターにおける子育て総合相談および、訪問員による家庭訪問を実施した。</p> <p>子育て世代包括支援センターでは、妊娠から出産、子育てに関する相談に応じた。</p> <p>(51,751千円)</p>	<p>出産や子育てに関する不安や悩みの相談に応じ、支援を行うことができた。また、子育てに関する情報の提供を行った。</p>	

事業番号	3-4	事業名	ファミリー・サポート・センター事業
平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）	平成30年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・育児支援活動 ・講習および指導の実施 ・会員間の交流等 	<p>特定非営利活動法人に委託し、保育所などへの送迎や子どもの預かり等の育児支援活動を延べ923件実施、提供会員養成講座を2回開催、会員間の交流会および地区住民との交流会を行った。</p> <p>(7,057千円)</p>	<p>育児支援活動により、子育て世代の負担を軽減し、また、提供会員養成講座を開催し、提供会員数を確保するほか、相互援助活動の組織を強化した。</p>	

事業番号	3-5	事業名	学童保育事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 学童保育所を整備 放課後子ども総合プランの推進 	第一学童保育所、第二学童保育所について、1人当たり専有区画面積の適正化の実施とともに、定員を39人増加した。 第四学童保育所について、第四小学校内に移転し、定員を54人増加した。(438,731千円)		平成31年4月の待機児童数が、前年の89人から73人となり、16人(▲18%)減少した。

事業番号	3-6	事業名	短期臨時学童保育事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 短期臨時学童保育所の開設（計1校） 事業検証 	青梅市立霞台小学校（霞台こどもクラブC）において、夏季休業中に短期臨時学童保育所を開設した。 (3,000千円)		霞台こどもクラブCにおいては、21人の待機児童を集め学童保育事業を実施したことで、夏季休業中の児童の福祉の向上および保護者の安心を図ることができた。

事業番号	3-7	事業名	保育所等施設整備事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 今井保育園（1年目） 	今井保育園園舎増改築の初年度工事（2年計画）を行った。 (27,752千円)		老朽化した園舎の改築工事の初年度工事を予定通り実施したことで、耐震性等安全性の向上を進めることができた。

事業番号	3-8	事業名	放課後子ども教室事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室(夕やけランド)推進事業(15校) 学童保育事業との連携 	藤橋小学校、若草小学校で新規開設し、計15校に拡大した。また、放課後子ども総合プランにもとづく連携を引き続き実施した。参加者延べ人数23,173人。連携回数346回。 (19,682千円)		実施校の2校増加により、参加者延べ人数は、286人増加し、学童保育との連携は、24回増加した。全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行う場の整備ができた。

事業番号	3-9	事業名	家庭教育啓発事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育啓発事業（家庭教育講演会、家庭のストーリーガンの周知等）の実施 		子どもの安全、教育、しつけ、食育をテーマに講演会 3 回を行った。また、青梅私立幼稚園父母会連合会共催講演会（1 回）を実施した。 （92 千円）		子育て・家庭教育に役立つテーマで講演会を実施し、家庭教育についての啓蒙・支援を行った。

事業番号	3-10	事業名	学力向上事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上対策事業（土曜、放課後等の補習）の実施 ・研究指定校の実施など 		サタデークラス（6会場、各10回）、ステップアップクラス（26校）を実施した。 研究指定校 5 校および学力向上推進モデル校による研究を実施した。 （13,592 千円）		放課後や土曜日の補習事業を通して、児童・生徒に対し、家庭など学校以外での学習習慣づくりを推進した。 2 年次の研究指定校 2 校が研究発表を行い、研究の成果を広めた。

事業番号	3-11	事業名	学びと心の育成事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の課題解決や教育活動の活性化を図る事業の実施 		各学校の実態に応じて、放課後等の学習補助、登校支援、農業体験、植栽活動、伝統文化体験などを実施した。 （12,897 千円）		学校の特色や、学校の実態に応じて、学力向上やいじめ問題の解決、不登校の解消に向けた事業を展開することにより、各学校の課題解決や教育活動の活性化を推進した。

事業番号	3-12	事業名	児童生徒の学校適応体制の充実	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室指導員配置 ・指導環境の整備 ・スクールソーシャルワーカーの配置 		適応指導教室において不登校の児童・生徒を対象に授業および体験学習等を行った。 スクールソーシャルワーカー 2 名を配置し、不登校や家庭環境の問題等 37 件の支援を行った。 （5,724 千円）		適応指導教室に在籍していた中学3年生9名全員が高等学校等へ進学した。 不登校や家庭環境等の支援を行い、37 件のうち、19 件が解決、あるいは状況が好転した。

事業番号	3-13	事業名	特別支援教育事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校（東小を除く）への特別支援教室実施、中学校への導入準備 ・ 教育活動支援員の配置 ・ 研修会の開催 	全小学校（東小を除く）に特別支援教室を開設し、次年度導入中学校の準備を行った。 全小中学校に教育活動支援員を配置した。特別支援教育について講演会・研修会を実施した。 （33,756 千円）		特別支援教室の開設、支援員の配置により、特別な支援を必要とする児童・生徒への支援を推進した。また、研修会等を通して関係機関との連携、特別支援教育の理解啓発を行うことができた。

事業番号	3-14	事業名	学校教材・備品の整備
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校指導備品（図書、音楽教材、理科備品等）の更新、整備 	図書購入（小学校 17 校計 7,836,889 円、中学校 11 校計 6,536,733 円）、理科備品（小学校 3 校計 888,067 円、中学校 2 校計 589,680 円）等の整備を行った。 （23,917 千円）		全 28 校における学校図書室の蔵書整備および備品等の修繕、小学校 3 校・中学校 2 校における理科備品の計画的な購入等により、学校の学習環境の整備を図った。

事業番号	3-15	事業名	教育の情報化推進事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 校務システム導入 ・ 中学校サーバ、教育用 PC 等更新 ・ 情報セキュリティ対策の実施 	校務支援システムの調達および構築を行った。教員の研修および計 4 校の情報セキュリティ監査（フォローアップ）を実施した。中学校 10 校にタブレット PC を 1 校当たり約 40 台導入した。 （173,786 千円）		各学校の情報セキュリティに関する意識を高めさせた。タブレット PC を効果的に活用した授業研究を推進した。

事業番号	3-16	事業名	小・中学校校舎トイレ改修事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本・実施設計（1校）（中1校） ・ 改修工事（2校）（小1校、中1校） 	霞台中学校の基本・実施設計を実施した。 第一小学校、第三中学校の校舎内で使用頻度の高いトイレの改修を実施した。 （167,929 千円）		小中学校の校舎内トイレの洋式化率は前年末の約 37% から約 40% に増加した。前年度トイレ改修工事を実施した学校の改善点を生かし、トイレ改修工事を実施することができた。

事業番号	3-17	事業名	学校施設の個別施設計画事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・学校施設の個別施設計画内容の検討	学校施設個別施設計画を職員で作成することとし、総務部施設課と小中学校 26 校の学校施設（校舎と屋内運動場）の老朽化調査を実施した。 (0 円)		老朽化調査を実施したことにより、学校施設個別施設計画を作成するための資料を作成することができた。また、各学校の直近の老朽化状況を把握することができた。

事業番号	3-18	事業名	調理場統合の検討
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・統合の検討（調理手法等を見直し、人件費、設備投資を抑制する方策を検討）	藤橋調理場と根ヶ布調理場の学校給食調理の一本化および新共同調理場の建設地等を検討し、一本化に必要な経費と施設整備基本計画を策定する経費を令和元年度予算に計上した。 (0 円)		令和元年度 2 学期から、第二小学校を除く学校給食調理を藤橋調理場に一本化することとした。また、新共同調理場の建設を進めるため、令和元年度、施設整備基本計画を策定することとした。

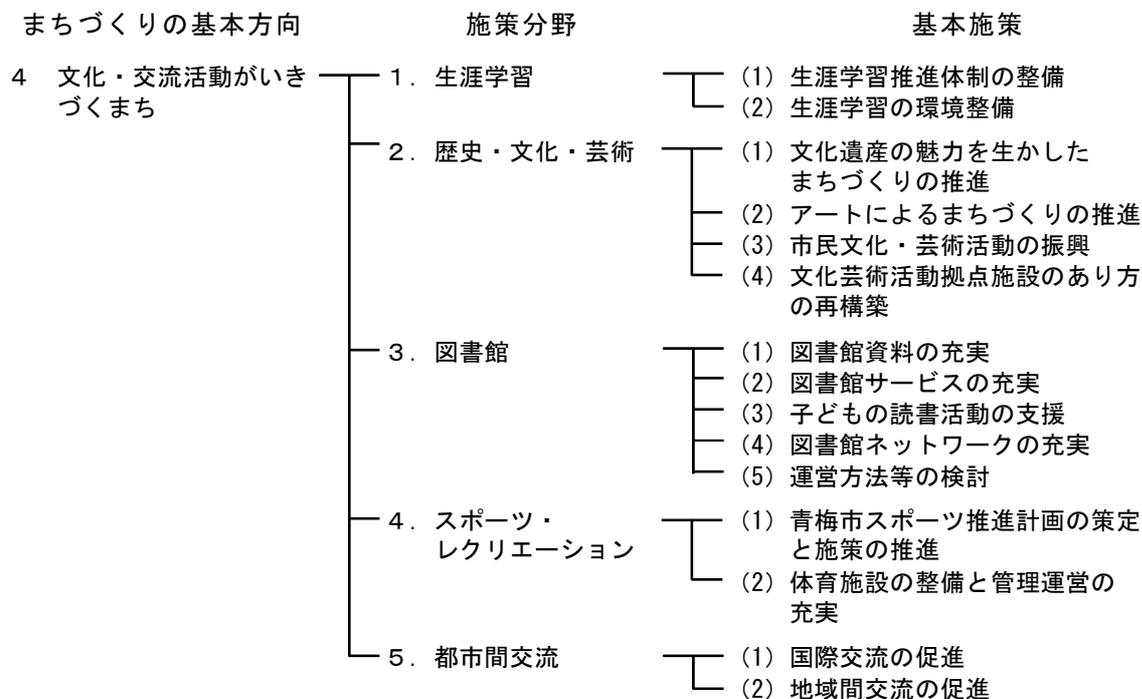
事業番号	3-19	事業名	体験活動の充実
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・体験教室の開催（農業・食育体験教室、親子文化体験教室など）	農業・食育体験教室を 4/22 から 11/11 の間に 9 回開催し、延べ 324 人が参加した。 親子で参加する文化体験を 2 講座開催し、延べ参加者 62 人が参加した。 (54 千円)		自宅ではあまりできない体験をすることによって、子どもたちの興味、関心の幅を広げることができた。

事業番号	3-20	事業名	若者の自立等支援事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・自立等支援事業として、若年者・家族向け相談、家庭訪問、民生委員・市民向け講演会等の実施	自立支援事業として、若年者・家族向け相談を 14 世帯延べ 20 回および、家庭訪問を 2 世帯延べ 7 回実施した。また、市民および要支援者向けの講演会を開催した。 (540 千円)		市民向け講演会に参加した者うち 3 名が自立に向けた相談につながった。相談や家庭訪問の実施により、1 名が支援施設の見学や説明を受け、1 名が正社員チャレンジプログラムにつながった。

事業番号	3-21	事業名	青少年健全育成事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあい綱引き大会の実施 ・青少年健全育成団体の登録 ・青少対事業費補助 		<p>綱引き大会（46 チーム、1,000 人参加）を実施した。</p> <p>青少年健全育成のため 96 団体を登録し、地域活動支援として青少年対策各地区委員会に補助金を交付した。</p> <p style="text-align: center;">（2,697 千円）</p>		<p>綱引き大会では、親子や団体での交流ができた。</p> <p>スポーツや文化活動を通して青少年の健全育成活動を推進した。各地区委員会の視察研修を行ったことが、地域での検討の素材となった。</p>

第4章 文化・交流活動がいきづくまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
生涯学習講座・教室受講者数 ○	人	1,583	6,787	5,636	10,000
		H14年度	H24年度	H30年度	R4年度
美術館年間入館者数	人	21,293	20,837	25,999	21,000
		H14年度	H24年度	H30年度	R4年度
市民一人当たりの図書貸出冊数	冊	5.2	7.6	6.9	9.1
		H14年度	H24年度	H30年度	R4年度
スポーツ実施率	%	26.3	28.8	41.0	70以上
		H15年度	H24年度	H28年度	R4年度

※○は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(KPI)と共通の指標

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 生涯学習			
4-1	第五次青梅市生涯学習推進計画の推進	(1)	●
2. 歴史・文化・芸術			
4-2	新生涯学習施設(仮称)整備事業	(4)	●
3. 図書館			
4-3	図書館資料整備事業	(1)	
4-4	青梅市子ども読書活動推進事業	(3)	
4. スポーツ・レクリエーション			
4-5	青梅市スポーツ推進計画の策定・推進	(1)	
5. 都市間交流			
4-6	ホストタウンの推進を軸とした東京2020大会への気運醸成事業	(1)	●
4-7	自治体間交流事業	(2)	●

※図書館資料整備事業(4-3)および青梅市子ども読書活動推進事業(4-4)の事業費については、指定管理者への管理運営委託料に含まれるため「-」で表記

事業番号	4-1	事業名	第五次青梅市生涯学習推進計画の推進
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・第五次青梅市生涯学習推進計画の推進 ・第六次青梅市生涯学習推進計画の策定 		<p>計画に定める「ともに学んで生きるまち」の実現に向け、実施講座の成果として、講座の元受講生で集まり、イベントへの出展や文化交流センターオープニングイベントへの出展準備を行った。</p> <p>(0 円)</p>	<p>事業実施を通じて、計画に定める「ともに学んで生きるまち」の実現に向け生涯学習の推進を図った。第五次青梅市生涯学習推進計画を踏襲しつつ、第六次青梅市生涯学習推進計画を策定した。</p>

事業番号	4-2	事業名	新生涯学習施設（仮称）整備事業
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・新築工事 ・外構工事 ・工事監理委託 ・備品購入 等 		<p>建設業者等と契約を締結し、新生涯学習施設の建設を行い、工期内に完了した。</p> <p>(1,355,195 千円)</p>	<p>実施設計にもとづき、契約を締結し、工期内に完了したことにより、整備事業を円滑に進めることができた。</p>

事業番号	4-3	事業名	図書館資料整備事業
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・図書の購入 ・視聴覚資料の購入 		<p>市民要望を尊重した図書館資料の充実に努めた。</p> <p>(-)</p>	<p>年間 135,074 冊のリクエストがあり、その内、135,024 冊の提供ができた。充足率は、99.9 パーセントであった。</p>

事業番号	4-4	事業名	青梅市子ども読書活動推進事業
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書活動推進事業、学校連携推進モデル事業の実施 		<p>第三次青梅市子ども読書活動推進計画にもとづき、読書活動支援や読書情報提供、読書啓発・広報および人材育成などの事業を実施した。</p> <p>(-)</p>	<p>おはなし会の開催、ブックリストの配布、おはなしボランティアの人材育成、小中学校への学校司書の配置（東小中除く）等の事業を実施し、子ども読書活動を推進した。</p>

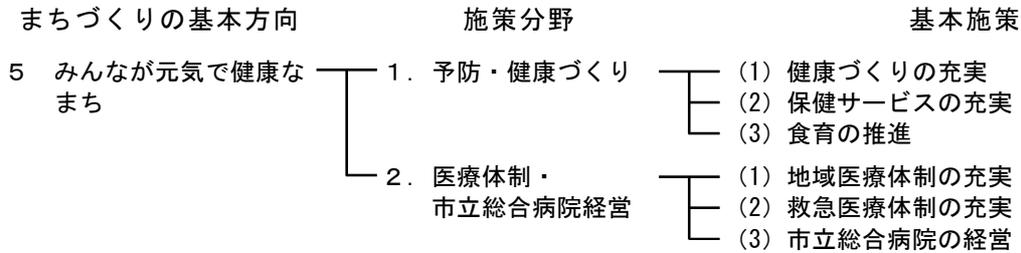
事業番号	4-5	事業名	青梅市スポーツ推進計画の策定・推進	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 青梅市スポーツ推進計画の見直し 		青梅市スポーツ推進計画の中間見直しを行った。奥多摩溪谷駅伝において、新たに小・中学生の部および支会・自治会の部を実施した。また、梅郷1・2丁目運動広場の整備や総合体育館トレーニングルームをリニューアルした。（256千円）		スポーツ団体や指定管理者と連携し、各種スポーツ事業を実施するとともに、スポーツに取り組める環境の充実を図り、青梅市スポーツ推進計画を推進した。

事業番号	4-6	事業名	ホストタウンの推進を軸とした東京2020大会への気運醸成事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> スポーツ交流、文化交流などによる気運醸成 カヌーキャンプ誘致など 		パブリックビューイングやエクストリームスポーツ体感イベント、パラスポーツ体験の実施、ドイツの伝統的なクリスマスマーケットの再現、カヌーキャンプ誘致などに取り組んだ。（13,150千円）		体験イベント等を通じて幅広い世代に東京2020大会への興味や関心を高めることができた。また、ドイツの伝統的なイベントを再現する等、ドイツファンづくりを推進した。

事業番号	4-7	事業名	自治体間交流事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 各種事業による交流 青梅・南相馬スクラム支援事業「夏休み青梅子ども体験塾」の実施 		青梅・南相馬スクラム支援事業「夏休み青梅子ども体験塾」（2泊3日）の実施等、自治体間の交流の輪を広げた。（2,189千円）		青梅市・杉並区が相互に各種イベントに参加し、関係団体や住民との交流を図った。また、青梅・南相馬スクラム支援事業「夏休み青梅子ども体験塾」の実施等を通じて、自治体間の交流の輪を広げた。

第5章 みんなが元気で健康なまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
特定健康診査の受診率	%	42.5	48.5	51.1	60.0
		H20年度	H24年度	H30年度	R4年度
慢性腎不全(CKD)重症化予防の取組による新規人工透析の患者数	人	15	20	17	10
		H20年度	H24年度	H30年度	R4年度
乳幼児健康診査の受診率	%	95	97	97.5	100
		H22年度	H24年度	H30年度	R4年度
「食育」へ関心を持っている市民の割合	%	-	69.4	67.1	80以上
		-	H20年度	H30年度	R4年度
「かかりつけ医」がいる市民の割合	%	-	53.6	70.3	70
		-	H20年度	H30年度	R4年度

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 予防・健康づくり			
5-1	青梅市健康増進計画の推進	(1)	
5-2	生活習慣病の重症化予防	(2)	
5-3	青梅市食育推進計画の推進	(3)	
2. 医療体制・市立総合病院経営			
5-4	地域医療機関連携推進事業	(1)	
5-5	医療器械整備推進事業	(3)	
5-6	新病院建設事業	(3)	

事業番号	5-1	事業名	青梅市健康増進計画の推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 青梅市健康増進計画の推進 ・ 推進会議、庁内連絡会の開催 ・ 市民アンケート 	<p>健康増進計画推進会議を 2 回開催した。次期計画策定の基礎資料として、市民 2 千人を対象にアンケートを実施し、714 人から回答を得た。また、本計画と連動した青梅市自殺総合対策計画を策定した。(656 千円)</p>		<p>青梅市健康増進計画における各課の取組み状況の確認、次期計画策定のための市民アンケートおよび自殺総合対策計画の内容を検討することで、健康増進計画を推進するとともに、次期計画の準備を進めることができた。</p>

事業番号	5-2	事業名	生活習慣病の重症化予防
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者へ啓発 ・ 医師による講演会の開催 	<p>前年度に再検査通知を送付した方を対象に慢性腎臓病予防講演会を開催し、62 名の参加があった。また、平成 30 年度特定健康診査の結果から、976 人へ、再検査通知および腎臓病予防講演会の通知を行った。(104 千円)</p>		<p>慢性腎臓病の疑いがある対象者へ、重症化予防のための啓発および改善に向けた意識の向上を図ることができた。</p>

事業番号	5-3	事業名	青梅市食育推進計画の推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 食育推進会議の開催(年 2 回) ・ 食育関連事業の開催 ・ 市民アンケート 	<p>食育推進会議 (2 回)、親子食育講座 (2 回 (32 名))、市民食育講演会 (133 名)、親子農業体験会 (延べ 120 名)、子どもお菓子作り教室 (17 名) を開催した。次期計画策定に向けて市民アンケートを実施した。(437 千円)</p>		<p>講座等を通じて、食に関する知識の習得と意識の向上を図ることで計画を推進できた。アンケート結果により、食育に関する意識を確認することが出来、次期計画の準備を進めることができた。</p>

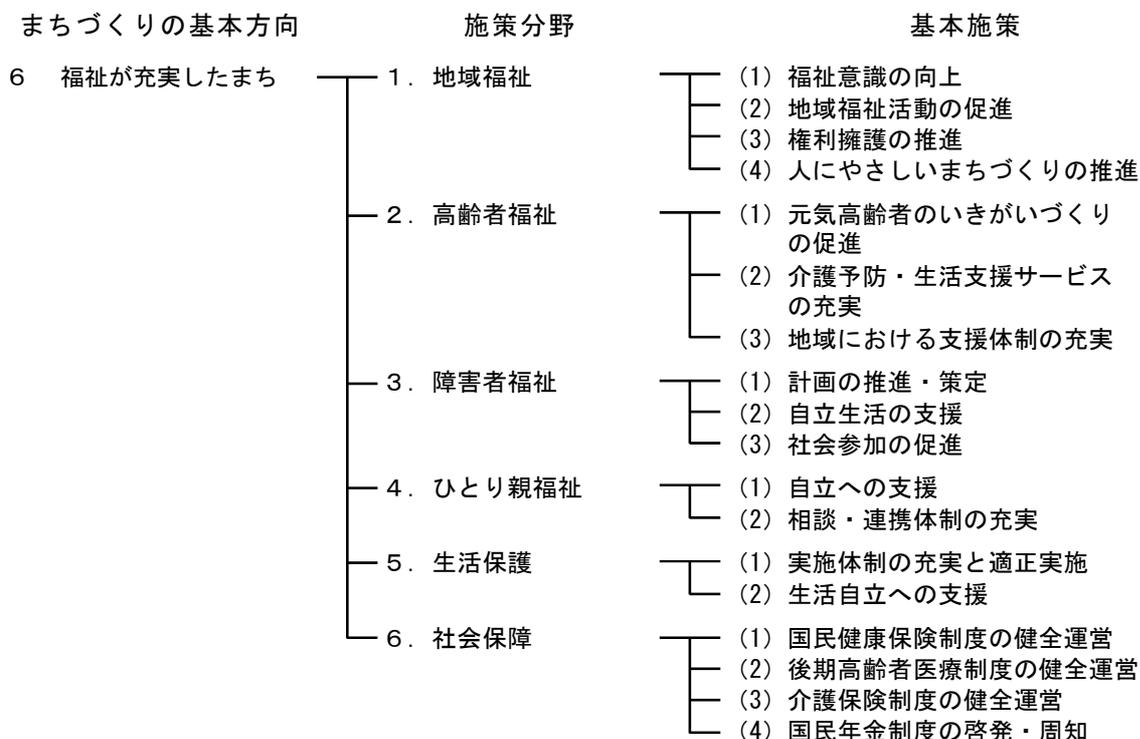
事業番号	5-4	事業名	地域医療機関連携推進事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の医師等医療従事者向け研修会や地域医療連携懇話会の実施 	<p>がん緩和研修会 2 回、地域連携がんセミナー1 回、地域医療連携懇話会 2 回を実施した。入退院支援センターの開設、にしたま ICT 医療ネットワーク協議会への加入等、地域医療連携の強化に努めた。(23, 940 千円)</p>		<p>連携の強化に向けた様々な取組を通じ、初診患者数は前年度に比べ 481 人増加し、紹介患者数も 780 人増加となった。紹介率 66.4%、逆紹介率 110.9%となり、当院設定基準を上回った。</p>

事業番号	5-5	事業名	医療器械整備推進事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・脳神経血管撮影装置の更新		西棟血管撮影室の血管撮影装置について、脳卒中手術に使用する機器であることから専門医の意見を踏まえ、かつ新病院への移設を前提として、将来の拡張性を考慮した機種選定を行い、更新した。（196,560 千円）		新機器になったことから、撮影の精度が向上し、手術の更なる安全性向上につながった。

事業番号	5-6	事業名	新病院建設事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・基本計画に沿った取組の推進		基本計画の予定どおりに基本設計を完了し、実施設計に着手した。パブリックコメントおよび説明会を実施した。新病院建設に必要な各種調査業務委託などを実施した。 （121,743 千円 （繰越 96,595 千円を含む））		基本設計が完了し、実施設計に着手するなど着実に建設準備を進めることが出来た。パブリックコメントや説明会により病院建設の周知が図れたとともに、市民意見を反映することができた。

第6章 福祉が充実したまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
自分が健康だと自覚している 高齢者の割合	%	—	80.2	80.4	増加
		—	H22 年度	H28 年度	R4 年度
要介護(要支援)認定者の出 現率※	%	11.9	14.5	15.7	20.4
		H15.3.31	H25.3.31	H31.3.31	R7.9.30
認知症サポーター数	人	292	1,490	5,144	10,000
		H20.3.31	H25.3.31	H31.3.31	R5.3.31

※出現率＝要介護(要支援)認定者数÷介護保険第1号被保険者(65歳以上)数

※要介護(要支援)認定者の出現率の到達目標は、「第7期青梅市高齢者保健福祉計画・青梅市介護保険事業計画」の推計値です。

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 地域福祉			
6-1	民生委員・児童委員の適正配置	(2)	
6-2	成年後見制度等の周知および利用促進	(3)	
2. 高齢者福祉			
6-3	介護予防・日常生活支援総合事業	(2)	
6-4	高齢者等見守り支援ネットワークの構築	(3)	
6-5	認知症サポーター養成研修事業	(3)	
3. 障害者福祉			
6-6	障害者計画、障害福祉計画の策定・推進	(1)	
6-7	青梅市障がい者サポートセンター事業	(2)	
6-8	視聴覚サービス等支援事業	(2)	
6-9	青梅市障害者就労支援センター事業	(3)	
4. ひとり親福祉			
6-10	ひとり親家庭自立支援事業	(1)	●
5. 生活保護			
6. 社会保障			

事業番号	6-1	事業名	民生委員・児童委員の適正配置
平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）		平成30年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動の推進 ・各種相談業務 ・関係機関との調整 ・協議会の運営 	<p>民生児童委員の日々の活動として、高齢者や障害のある方の見守り、相談、各種調査業務を行った。災害時要支援者について、防災課にて覚書を交わし、要支援者名簿の作成に必要な情報提供を行った。（36,719千円）</p>		<p>相談・支援件数は前年度の2,673件から3,136件に、活動日数は、前年度24,913日から25,312日と大幅な増となり、より多くの相談支援に対応することができた。</p>

事業番号	6-2	事業名	成年後見制度等の周知および利用促進
平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）		平成30年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見活用あんしん生活創造事業の推進 ・社会貢献型後見人等の導入の検討 ・法人後見の実施 	<p>青梅市社会福祉協議会主催の講座の開催に事業協力した。市長申立による申請や後見報酬に伴う費用を助成するとともに、青梅市社会福祉協議会に法人後見を委託し、平成30年度末現在、9件受任している。（15,158千円）</p>		<p>市民向け講座には約160人の方が参加した。 必要な方々を成年後見制度につなげることにより、財産の保全等を図ることができた。</p>

事業番号	6-3	事業名	介護予防・日常生活支援総合事業
平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）		平成30年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活支援総合事業の実施 	<p>多様なニーズへの対応や、高齢者の社会参加を推進するために、元気高齢者等による担い手養成講座を実施した。また、おうめ支えあいフォーラムを実施し、支えあい活動の必要性の周知を図った。（223,223千円）</p>		<p>元気高齢者等による担い手養成講座により、45人を社会参加へ繋げることができた。また、地域での話し合いの場を設けたことで、地域のネットワークづくりのきっかけづくりになった。</p>

事業番号	6-4	事業名	高齢者等見守り支援ネットワークの構築
平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）		平成30年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・協力事業者の拡充 ・高齢者等見守り支援ネットワーク会議の開催 	<p>民間事業者との見守り協定締結を拡充するとともに、関係機関等との連携を深め、見守りのネットワークの充実を図った。また、関係機関等との連絡会を開催した。 (3千円)</p>		<p>協定締結事業者が2事業者増え、合計37事業者となり、高齢者等の見守り体制を拡大することができた。また、協定締結事業者や警察等の関係機関と連絡会を開催し、情報を共有できた。</p>

事業番号	6-5	事業名	認知症サポーター養成研修事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーター養成研修の実施 ・ 関係機関との連携 	認知症サポーター養成研修を 19 回開催し、970 人が受講した。認知症サポーターが累計で 5,144 名となった。 (122千円)		認知症サポーターが増加したことにより、認知症の方の見守り体制等を拡大することができた。地域包括支援センターの他、医療機関相談員や介護施設職員など他職種で連携し取り組めた。

事業番号	6-6	事業名	障害者計画、障害福祉計画の策定・推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者計画および障害福祉計画の推進 ・ 障害者計画策定に向けたアンケート等の実施 	障害者地域自立支援協議会（4 回開催）において、青梅市障害福祉計画の検証を行い、今後の課題について協議した。次期青梅市障害者計画の策定に向けた基礎調査（アンケート）を実施した。 (484 千円)		第 4 期青梅市障害福祉計画における整備目標、サービスの支給実績を把握し、課題の整理を行うことができた。次期青梅市障害者計画に向けた準備を進めることができた。

事業番号	6-7	事業名	青梅市障がい者サポートセンター事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者を支援する各種事業の実施 	障がい者を支援するための相談支援事業（相談件数 6,943 件）や地域活動支援センター事業等の他、虐待防止、発達障害および高次脳機能障害に関する講演会を実施し、合計 168 人が参加した。 (52,690 千円)		相談支援事業により適したサービス利用など、各種の支援につなげた。講演会の実施により、障がいに関する正しい知識を広めることができた。

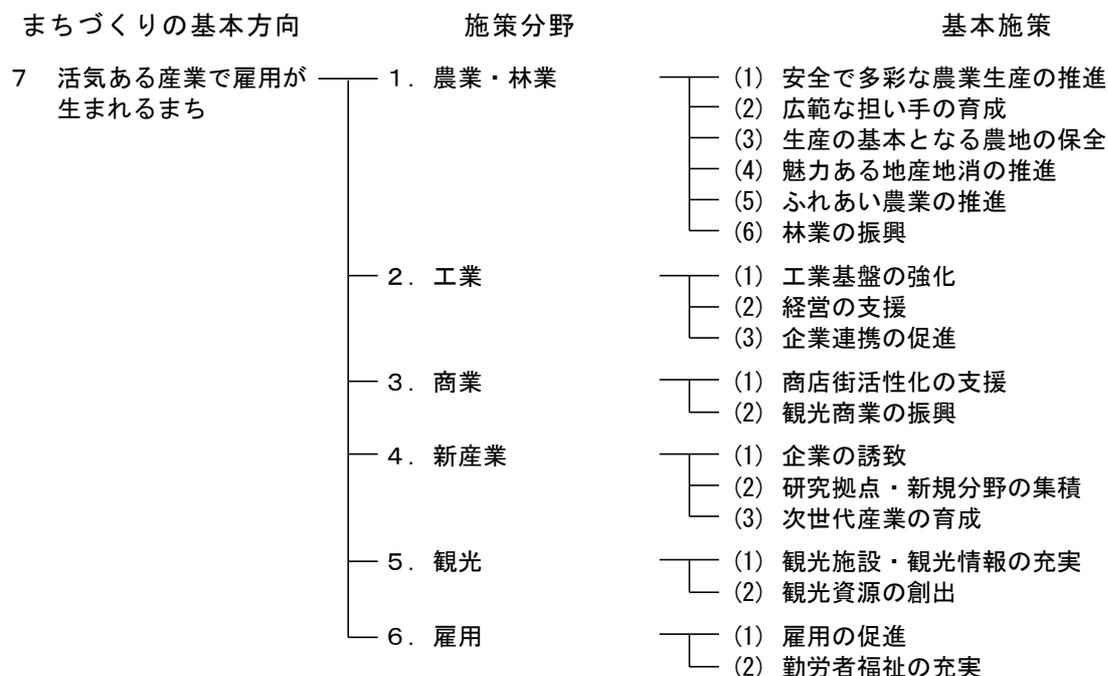
事業番号	6-8	事業名	視聴覚サービス等支援事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声コードの普及啓発 ・ 職員研修の実施 ・ 手話講習会の実施 	障がい者福祉課の窓口到手話通訳者を配置した。音声コードの市刊行物等への使用と普及啓発を図った。また、手話講習会（入門・初級）を計 33 回実施し、41 名が受講した。 (165 千円)		新たに、障がい者福祉課窓口到手話通訳者を配置し、窓口サービスの向上を図った。音声コードの作成方法等を庁内へ周知するなど、音声コードの普及を市全体で取り組むことができた。

事業番号	6-9	事業名	青梅市障害者就労支援センター事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労面の支援の実施 ・ 生活面の支援の実施 	職業相談、就労準備相談などの就労面の支援や日常生活、社会生活などの生活面の支援を行った。市内企業向け施設見学会に参加し、就労支援センターを周知した。 (28,078 千円)		職場体験実習を 7 人に実施し、就労活動へつなげたところ、2 人が就労することができた。施設見学会により、障がい者の雇用を検討している企業に向け、情報提供することができた。

事業番号	6-10	事業名	ひとり親家庭自立支援事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子・父子自立支援員等による相談・支援の実施 ・ 高等職業訓練促進給付金等の支給 	母子・父子自立支援員等による相談を 561 件受け、支援を行った。 高等職業訓練促進給付金等を支給した。 (18,334 千円)		高等職業訓練促進給付金等を支給した 17 人の内、2 人が看護師、1 人が准看護師、1 人が言語聴覚士、1 人が美容師の資格を取得し、就労開始した。

第7章 活気ある産業で雇用が生まれるまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
年間観光入込み客数	人	212万	195万	216万	212万
		H13年度	H24年度	H29年度	R4年度
事業所数・従業員数 ○	カ所 人	5,200 56,280	5,051 55,925	4,981 55,506	5,024 55,629
		H13	H21	H26	R4

※○は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(KPI)と共通の指標

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 農業・林業			
7-1	青梅市農業振興計画の策定・推進	(1)	●
7-2	梅の里再生事業	(1)	●
7-3	強化対策地区における緊急防除対策事業	(1)	●
7-4	都市農業活性化支援事業	(2)	
7-5	農業経営改善計画等の推進	(2)	
7-6	6次産業化支援事業	(4)	●
7-7	林業振興事業	(6)	●
2. 工業			
7-8	おうめものづくり支援事業	(1)	●
3. 商業			
7-9	商・工業振興プランの策定・推進	(1)	●
7-10	商店街空き店舗活用事業	(1)	●
7-11	商店街活性化イベント事業の推進	(2)	●
7-12	販路拡大支援事業	(2)	●
4. 新産業			
7-13	企業誘致の推進	(1)	●
5. 観光			
7-14	観光ボランティア養成事業	(1)	●
7-15	おうめ！観光戦略創造プロジェクト	(1)	●
7-16	「道の駅」整備の検討	(1)	●
7-17	梅の里再生事業	(2)	●
7-18	フィルムコミッション(ロケーションサービス)事業	(2)	●
6. 雇用			
7-19	就職面接会の開催	(1)	●
7-20	労働相談の実施	(2)	

事業番号	7-1	事業名	青梅市農業振興計画の策定・推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興計画にもとづく事業の推進 	<p>1/29 に開催した「青梅市農業振興対策審議会」において、「第三次青梅市農業振興計画」の取り組み状況について協議した。</p> <p>(73 千円)</p>	<p>「第三次青梅市農業振興計画」における計画事業の進捗状況の確認や、計画策定後に生じた新たな課題の整理を行った。</p>	

事業番号	7-2	事業名	梅の里再生事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・梅まつりの実施 ・梅の公園等の整備充実 ・梅苗木育成・管理 ・援農ボランティア講座 	<p>梅まつり（2/24～3/24）を実施した。梅の公園に 274 本の梅樹植栽を実施した。梅の公園施設整備、中道梅園植栽、トイレおよび園路等整備を実施した。日高圃場において梅苗木育成・管理を実施した。（105,168 千円）</p>	<p>梅まつりを実施し、梅の公園に 26,629 人の来場者を迎えることができた。快適な施設環境と新たな梅の里の景観を提供できた。梅苗木 344 本を農家に再植栽することができた。</p>	

事業番号	7-3	事業名	強化対策地区における緊急防除対策事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況調査 ・アブラムシ防除作業 ・感染樹の即時伐採 	<p>ウメ輪紋ウイルス緊急防除にかかる強化対策を実施した。</p> <p>年 3 回の P P V 感染状況調査、感染樹の 2 週間以内の枝打ち（55 園地・76 本）、アブラムシ防除を実施した。</p> <p>(41,517 千円)</p>	<p>強化対策の実施により再植栽地区を拡大することができた。</p>	

事業番号	7-4	事業名	都市農業活性化支援事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・農業者集団等の生産力や収益の向上の支援 ・支援対象事業の検討 	<p>東京都へ 3 件 30,234 千円の事業実施要望を提出したが、不採択となった。</p> <p>(0 千円)</p>	<p>令和元年度は、3 件 13,360 千円の事業実施要望を提出しており、採択される予定である。</p>	

事業番号	7-5	事業名	農業経営改善計画等の推進	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 市内認定農業者への支援 		5名の認定農業者の各事業（機械導入等）に対し、補助金を交付した。 （1,209千円）		認定農業者等の生産力が向上し、経営改善計画の推進に寄与した。

事業番号	7-6	事業名	6次産業化支援事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化の支援 地産地消の推進 新たな補助事業 		6次産業化事業に取り組む市内団体（1件）に対して、補助金を交付した。 （1,000千円）		新たな加工品の研究・開発にかかる経費やその後の商品化およびその販路拡大を行うための経費等を補助することにより、地域産業の活性化と青梅産農林産物の販売拡大が図られた。

事業番号	7-7	事業名	林業振興事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 林業振興事業の検討 		青梅市森林整備推進協議会において、林業構造改善事業基金および森林環境譲与税の用途について協議を行った。また、間伐材の有効活用を図るために、地域内エコシステムの実現可能性調査を実施した。（0千円）		譲与税の用途について、放置林や所有者不明林の整備等を検討し課題が明確になった。地域内エコシステムの実現可能性調査では、川上、川中、川下のそれぞれの課題が明確になった。

事業番号	7-8	事業名	おうめものづくり支援事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 中小企業に対する各種支援の実施 支援企業に対する効果測定 		中小企業に対し、新分野進出支援（2件）、特許・ISO取得支援（1件）、人材育成支援（10件）、地域ネットワークづくり支援（17件）、新規雇用者育成支援（3件）を実施した。 （10,128千円）		新製品や改良を加え付加価値を高めた製品等への補助を行い、従業員の人材確保・育成事業助成を行うことで、盤石な体制を作った。

事業番号	7-9		商・工業振興プランの策定・推進
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・計画の推進 ・実施計画の検証 		<p>「地域未来投資促進法」に基づく青梅市基本計画、「生産性向上特別措置法」に基づく導入促進基本計画等、中小企業を支援する基本計画を策定し、国・都の承認を受けた。</p> <p>(0 千円)</p>	<p>地域未来法・青梅市基本計画の方針に基づき、中小企業3社が地域経済牽引事業計画を策定中である。生産性向上の実現に向けた中小企業の先端設備導入計画は23件の申請があった。</p>

事業番号	7-10	事業名	商店街空き店舗活用事業
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・家賃助成補助等の実施 		<p>商店街が行う2件の空き店舗活用事業に対しての家賃補助等を実施した。また、空き店舗を活用し事業を開始しようとする創業者2名に、施設の改修にかかる経費の一部を補助した。</p> <p>(4,000 千円)</p>	<p>商店街の空き店舗の解消と魅力ある個店への支援による商店街のにぎわいの創出、来街者増に寄与するとともに、創業者の活躍の場を支援し、商店街の活性化を図ることができた。</p>

事業番号	7-11	事業名	商店街活性化イベント事業の推進
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・イベント事業等の支援 		<p>青梅宿アートフェスティバル等の商店街が行うイベント事業等に対し、補助金を交付した。(8団体、16事業)</p> <p>(15,719 千円)</p>	<p>主に商店会が主催するイベント事業の維持・継続に寄与するとともに、年間で約22万人の来街者が訪れるなか、それらの回遊やリピーターを促し、商店街の振興・活性化を図ることができた。</p>

事業番号	7-12	事業名	販路拡大支援事業
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・特産品の選定支援 ・販路拡大状況の把握 		<p>市の特産品を購入できるインターネットサイト「東京いいもの青梅」の市内事業所の追加登録、商品拡充を充実させるとともに、HPの構成等大幅リニューアルを行い、利用しやすさの改善を図った。(0 千円)</p>	<p>運営管理する青梅商工会議所とともに販路拡大支援を行い、取扱事業者および商品を拡充することができた。青梅市の土産品や推奨品を市内外へ広域的に発信し、商業振興を図った。</p>

事業番号	7-13	事業名	企業誘致の推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致条例の周知による企業誘致の推進 ・企業誘致奨励金の交付 	<p>市内に企業用地を取得した 1 社に企業誘致奨励金を交付した。新たに市内で事業用地を取得した企業 1 社に対し奨励金交付対象事業者として認定した。</p> <p>(100,515 千円)</p>	<p>事業用地に関する金融機関との相互連携を図り、市内に事業進出を希望する企業に情報提供を行った。【奨励金交付企業】太陽誘電モバイルテクノロジー(株)【新規奨励金交付企業】(株)有明電装</p>	

事業番号	7-14	事業名	観光ボランティア養成事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドボランティア事業の充実 	<p>しょうぶ公園ガイドボランティアの新規募集を行い、講習会を開催した。新規に 1 名の応募があった。梅の公園ガイドボランティアについては、講習会を開催しガイド活動を再開した。</p> <p>(57 千円)</p>	<p>しょうぶ公園ガイドボランティアについては、新規に 1 名の応募があり、人員不足解消につながった。講習会の実施により各ガイドボランティア事業の質の向上を図ることができた。</p>	

事業番号	7-15	事業名	おうめ！観光戦略創造プロジェクト
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな事業の実施と検証 	<p>御岳山星空ツアー等の着地型旅行商品の開発を行った。SNS等を活用し、「OmeBlue」の活用事例等を発信した。青梅市観光協会HPのリニューアルが行われた。市内周遊の促進事業を実施した。(15,488 千円)</p>	<p>「OmeBlue」の活用事例が約 60 件となった。青梅市観光協会HPは、操作性が向上した他、市の観光情報の総合的な発信が可能になった。市内周遊促進事業は、3 月 68 名、10 月 38 名の参加があった。</p>	

事業番号	7-16	事業名	「道の駅」整備の検討
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・整備に向けての検討 	<p>検討を継続した。</p> <p>(0 千円)</p>	<p>先進地の事例研究等を行い、整備等に向けての検討を継続した。</p>	

事業番号	7-17	事業名	梅の里再生事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 梅まつりの実施 梅の公園等の整備充実 梅苗木育成・管理 援農ボランティア講座 	<p>梅まつり（2/24～3/24）を実施した。梅の公園に 274 本の梅樹植栽を実施した。梅の公園施設整備、中道梅園植栽、トイレおよび園路等整備を実施した。日高圃場において梅苗木育成・管理を実施した。（105,168 千円）</p>		<p>梅まつりを実施し、梅の公園に 26,629 人の来場者を迎えることができた。快適な施設環境と新たな梅の里の景観を提供できた。梅苗木 344 本を農家に再植栽することができた。</p>

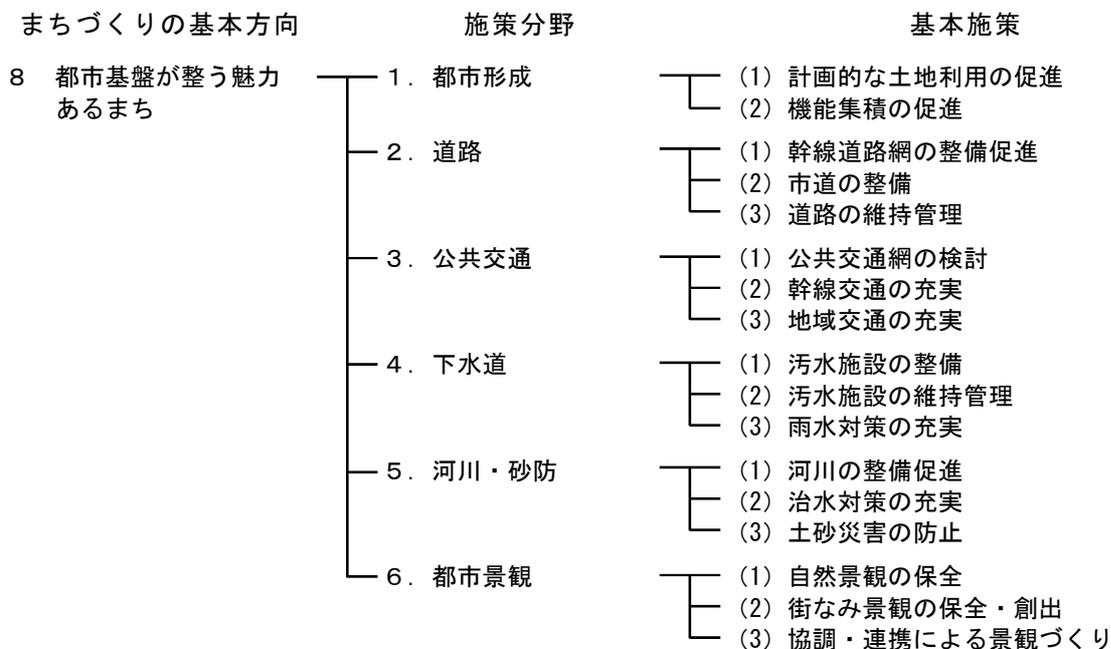
事業番号	7-18	事業名	フィルムコミッション(ロケーションサービス)事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 撮影場所の情報提供等 	<p>撮影場所の情報提供、希望する撮影風景の場所探し、撮影希望施設への交渉、撮影現場の立会い等を実施した。青梅市観光協会ホームページでのロケ弁の紹介を行った。</p> <p>(0 千円)</p>		<p>217 件の相談があり、80 件の撮影が行われた。</p>

事業番号	7-19	事業名	就職面接会の開催
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との共催による就職面接会、講習会等の実施 	<p>関係団体と共催で各種就職面接会・企業説明会を合計 7 回実施した。また女性の再就職支援、働く女性のためのスキルアップ講座を 2 回（計 8 日間）実施した。</p> <p>(0 千円)</p>		<p>ハローワーク青梅との共催事業により、49 名の参加者のうち 17 名の若年者の就職、再就職を支援した。東京しごとセンター多摩との連携共催事業により、12 名の就職内定を支援した。</p>

事業番号	7-20	事業名	労働相談の実施
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 労働相談の実施 	<p>毎月 1 回（第 3 水曜日午前または夜間、日曜日）、社会保険労務士による無料の労働相談を実施した。年間延べ 9 人の利用があった。</p> <p>(0 千円)</p>		<p>雇用環境、労使間の諸問題の事前防止や早期解決に向け、実践的なノウハウを持つ社会保険労務士から指導・アドバイスを受けられる機会を設けたことで問題解決の一端を担うことができた。</p>

第8章 都市基盤が整う魅力あるまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画 開始時点	現状	到達目標
地籍調査進捗率(D I D)	%	38.5	43.8	52.6	58.1
		H21.3.31	H25.3.31	H31.3.31	R5.3.31
J R 青梅線利用者数 (河辺駅、東青梅駅、青梅駅 の乗車人員) [※] ○	人	27,876	26,795	26,689	26,800
		H14年度	H23年度	H30年度	R4年度
水洗化率	%	89.5	92.3	95.9	100
		H15.3.31	H25.3.31	H31.3.31	R5.3.31

※ J R 青梅線利用者数は、上記各駅における一日平均の乗車人員の合計

※○は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(K P I)と共通の指標

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 都市形成			
8-1	都市計画マスタープランの改定・推進	(1)	
8-2	地籍調査事業	(1)	
8-3	今井土地区画整理事業の推進	(2)	
8-4	東青梅駅北口整備事業	(2)	
8-5	日本ケミコン跡地の利活用	(2)	●
8-6	中心市街地活性化促進事業	(2)	●
2. 道路			
8-7	都市計画道路の整備	(2)	
8-8	市道の改修・改良	(2)	
8-9	健康と歴史・文化の路整備事業	(2)	
8-10	電線類の地中化	(2)	
8-11	橋りょうの長寿命化	(3)	
3. 公共交通			
8-12	青梅市公共交通基本計画の推進	(1)	●
8-13	バス路線等補助事業	(3)	●
8-14	地域公共交通改善事業	(3)	●
4. 下水道			
8-15	公共下水道汚水事業の計画策定・推進	(1)	
8-16	合併処理浄化槽整備事業の計画策定・推進	(1)	
8-17	第3期事業区域の下水道(汚水)整備	(1)	
8-18	小曾木事業区域の下水道(汚水)整備	(1)	
8-19	御岳山事業区域の下水道(汚水)整備	(1)	
8-20	ポンプ場の改修・更新	(2)	
5. 河川・砂防			
8-21	河川の維持改修	(2)	
6. 都市景観			
8-22	景観まちづくり事業	(1)	

事業番号	8-1	事業名	都市計画マスタープランの改定・推進	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基礎調査の実施 		<p>東京都が行う都市計画に関する基礎調査を、委託を受けて実施した。また、都市マス等にもとづく青梅駅周辺地区の市街地再開発等について、都市計画審議会で3回審議を行った。</p> <p>(1,782 千円)</p>		<p>都市計画マスタープランに位置付けた都市の将来像を実現するため、個別分野のまちづくりの目標を推進した。</p>

事業番号	8-2	事業名	地籍調査事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生地籍調査 ・社会資本整備円滑化地籍整備（御岳山） ・地籍整備（今井4丁目） 		<p>都市再生地籍調査、官民境界測量を実施した。また、今井2丁目・4丁目地区においては、今井土地区画整理事業の円滑化に向けて地籍整備に着手した。</p> <p>(75,742 千円)</p>		<p>街区調査および一筆地調査を継続的に実施し、地震等による災害復旧や土地取引の円滑化への対応を図った。</p>

事業番号	8-3	事業名	今井土地区画整理事業の推進	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・関係法令、関連計画に関する関係機関との協議 ・環境影響評価関連事前協議および手続き 		<p>今井土地区画整理事業を推進するため、東京都と都市計画や農業振興地域整備計画の変更に向けた協議を進めた。また、都の環境影響評価制度について、都と事前協議を行った。</p> <p>(81 千円)</p>		<p>東京都との協議を通じ、事業予定区域の市街化区域への編入や、農振農用地の除外について課題を整理するとともに、環境影響評価制度についても調査計画書作成に向けた準備を行った。</p>

事業番号	8-4	事業名	東青梅駅北口整備事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・JR等と協議 		<p>エレベーターの設置を含めた東青梅駅の駅舎建替えに向け、JR等との協議を行った。</p> <p>(0 千円)</p>		<p>東青梅駅の駅舎建替えについて、利便性の向上やバリアフリー化、老朽化への対応へ向けた協議を進めることができた。</p>

事業番号	8-5	事業名	日本ケミコン跡地の利活用
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・東青梅 1 丁目地内諸事業用地等整備基本計画の検討	整備基本計画を策定するため、民間事業者による事業用地利活用提案の募集や大型児童センターをテーマにしたぷらっとカフェ、茅野市民館の視察等を実施した。 (0 千円)		「東青梅 1 丁目地内諸事業用地等整備基本計画」策定に向けて検討を進めることができた。

事業番号	8-6	事業名	中心市街地活性化促進事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・認定基本計画事業推進 ・青梅駅前地区市街地再開発事業支援 ・旧青梅街道沿道まちなか再生事業の推進等 	認定基本計画にもとづき各種事業を実施した。青梅駅前地区市街地再開発準備組合の運営および計画の推進を支援した。株式会社まちづくり青梅の運営および事業を支援した (2,859 千円)		青梅駅前地区については、第一種市街地再開発事業を都市計画決定した。

事業番号	8-7	事業名	都市計画道路の整備
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・3・5・5 総合高校補償代行工事、用地購入 ・3・5・24 街築工事 ・3・5・26 用地購入、雨水管工事 	3・5・5 号線は総合高校補償代行工事に着手した。3・5・24 号線は街築工事等を実施し、次期計画区間の予備設計を実施した。3・5・26 号線は雨水管理設工事等を実施した。 (96,835 千円)		3・5・5 号線は、配電線路の移設補償の一部が完了した。3・5・24 号線は、令和元年度完成に向け、残りの街築の詳細設計を実施した。3・5・26 号線は、物件の補償が完了した。

事業番号	8-8	事業名	市道の改修・改良
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・改修工事、用地取得、路面改良 等	幹 29 号線外の改修工事、幹 4 号線外の路面改良工事および用地の取得、補償等を予定通り実施した。 (134,039 千円)		改修工事、路面改良工事、側溝新設および橋りょう新設架け替に伴う測量を予定通り実施した。

事業番号	8-9	事業名	健康と歴史・文化の路整備事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・「健康と歴史・文化の路」整備事業計画にもとづく整備工事	「健康と歴史・文化の路」整備事業計画にもとづく整備工事を計画どおりに実施した。 (20,402 千円)		「健康と歴史・文化の路」整備事業計画にもとづく景観に配慮した道路整備工事を実施し、道路を利用する人と車の安全・安心の向上および快適性の増進を図ることができた。

事業番号	8-10	事業名	電線類の地中化
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・電力管引連設計委託 ・電線共同溝詳細設計委託 ・電線共同溝整備工事	都市計画道路 3・5・5 号線については、電線共同溝整備工事等を実施した。また、無電柱化チャレンジ支援事業制度による路線選定のため、基礎調査委託を実施した。 (104,514 千円)		3・5・5 号線は、電線共同溝工事等に関して、工程計画の見直しを行いながら着実に事業を進めた。無電柱化チャレンジ支援事業制度を活用し電線地中化路線を選定した。

事業番号	8-11	事業名	橋りょうの長寿命化
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・点検 ・補修設計 ・補修工事	8 橋の定期点検を実施した。過年度に点検した橋りょう 2 橋について補修設計を実施した。過年度に補修設計を実施した橋りょうから優先度の高い 3 橋について補修工事を実施した。 (77,430 千円)		定期点検、補修設計および補修工事を実施し、橋りょうの継続的な安全性・信頼性を確保した。

事業番号	8-12	事業名	青梅市公共交通基本計画の推進
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・青梅市公共交通基本計画の推進	公共交通を利用するハイキングマップを作成し、配布した。成木小学校で交通環境学習を実施した。「青梅市公共交通ガイド」を市民や協議会委員の意見を取り入れ刷新し、全戸配布した。 (3,318 千円)		ハイキングマップの配布後、前年同月比でバス利用者数の増加が見られた。交通環境学習では、家庭でバスについて話し合う機会を設定し、保護者を含めた公共交通の利用促進を図った。

事業番号	8-13	事業名	バス路線等補助事業
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・公共負担金によるバス路線の維持 ・新たな公的支援制度の検討 		バス路線の維持確保のための公共負担を行った。 （132,881 千円）	都営バスおよび西東京バスに対して公共負担を行い、路線維持を図った。

事業番号	8-14	事業名	地域公共交通改善事業
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通の維持および利用促進策の取組支援 		既存のバス路線の維持存続に向けて、利用促進や住民の意識改革を図るための施策として、青梅市公共交通協議会と連携し、公共交通を利用するハイキングマップを作成し、配布した。 （0 千円）	観光客を対象としたハイキングマップの配布後、前年同月比でバス利用者数の増加が見られた。

事業番号	8-15	事業名	公共下水道汚水事業の計画策定・推進
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道汚水事業の整備推進 ・中期構想検討委員会設置要綱の制定 		国および東京都の補助金を活用して、公共下水道汚水事業の計画策定を行った。 （9,665 千円）	国の社会資本整備総合交付金（防災安全分）および都の下水道事業補助金を活用し、市の負担軽減を図った。

事業番号	8-16	事業名	合併処理浄化槽整備事業の計画策定・推進
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）	平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・公設浄化槽の整備推進および譲渡受入れ ・適正な浄化槽維持管理の推進 		公設浄化槽を 24 基設置し、個人所有合併処理浄化槽の譲渡を 6 基受け入れた。これにより、公設浄化槽は 260 基となった。 （61,271 千円）	公設浄化槽の設置および個人所有合併処理浄化槽の譲渡受入れにより、事業促進に努めた。

事業番号	8-17	事業名	第3期事業区域の下水道（汚水）整備
平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）		平成30年度事業成果
・第3期事業区域における下水道（汚水）の未普及地域の解消	柚木町地区において下水道（汚水）管きよの枝線布設工事を実施した。 工事延長L=203.0m (64,378千円)		第3期事業区域における下水道面整備率は、一部未執行であったが、約95%となった。

事業番号	8-18	事業名	小曾木事業区域の下水道（汚水）整備
平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）		平成30年度事業成果
・小曾木事業区域における下水道（汚水）の未普及地域の解消	黒沢地区・小曾木地区および富岡地区において下水道（汚水）管きよの枝線布設工事を実施した。 工事延長L=2,106m (335,934千円)		小曾木事業区域における下水道面積整備率は、約95%となった。

事業番号	8-19	事業名	御岳山事業区域の下水道（汚水）整備
平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）		平成30年度事業成果
・御岳山事業区域における下水道（汚水）の未普及地域の解消 ・御岳山集落地区の実施設計	御岳山事業区域において下水道（汚水）の連絡管整備工事を実施した。工事延長L=517m 御岳山地区において実施設計（開削工法）1式 (84,406千円)		連絡管整備工事の総延長のうち約70%が完了した。また、御岳山地区の実施設計を行った。

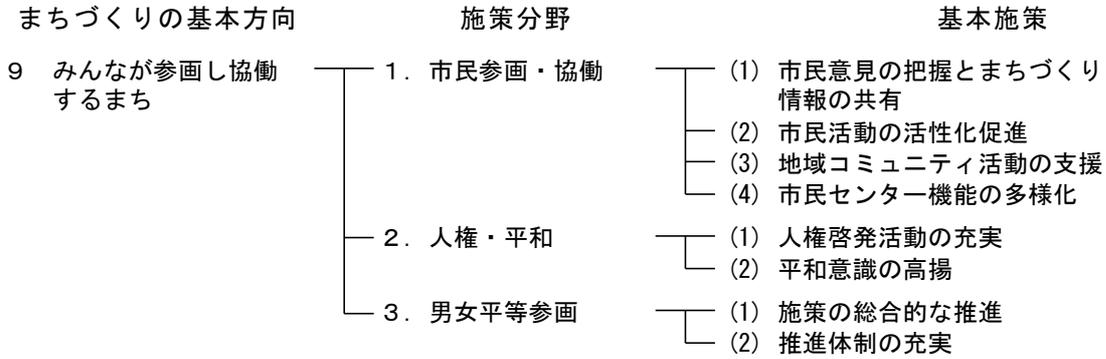
事業番号	8-20	事業名	ポンプ場の改修・更新
平成30年度事業計画	平成30年度取組状況（事業費）		平成30年度事業成果
・大柳ポンプ場電気設備改修工事 他	昨年度に引き続き、大柳汚水中継ポンプ場電気設備改修工事および地下土木構造物耐震補強工事を実施した。 (116,656千円)		大柳ポンプ場の非常用発電設備の改修および発電機室周りの地下土木構造物の耐震補強を完了し、ポンプ場の耐震性・安全性を高めた。

事業番号	8-21	事業名	河川の維持改修	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 河川維持工事 大門川用地取得（霞川合流部～水門） 八幡堀水路整備工事 		大門川の整備のための測量や補償および矢端川調節池整備用地の購入や管理柵の設置を実施したほか、自治会要望等にもとづく河川維持工事や水路整備工事を実施した。 (74,307 千円)		大門川、矢端川調節池の整備事業を進めた。また、自治会等の要望にもとづく河川・水路の補修や整備工事により河川の機能保全を図った。

事業番号	8-22	事業名	景観まちづくり事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 重要資源修景助成 市民団体運営助成 		景観まちづくり市民団体の運営、活動事業への助成を 1 団体に対して行った。 (30 千円)		青梅駅周辺景観形成地区における良好な街なみ景観の形成、保全に寄与する、市民団体の運営、活動事業への助成により、景観まちづくりの推進が図れた。

第9章 みんなが参画し協働するまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
青梅ボランティア・市民活動センターに登録している団体数	団体	21	68	74	90
		H14年度	H24年度	H30年度	R4年度
市の審議会等における女性の参画率	%	19.7	22.2	23.7	33.3
		H20.4.1	H24.4.1	H31.4.1	R5.3.31

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 市民参画・協働			
9-1	ホームページを活用した情報発信の充実	(1)	
9-2	協働推進事業	(2)	
9-3	青梅ボランティア・市民活動センターの活動促進事業	(2)	
9-4	婚活支援事業 【新規】	(2)	
9-5	自治会加入促進事業	(3)	●
2. 人権・平和			
9-6	平和事業	(2)	
3. 男女平等参画			
9-7	男女平等参画推進事業	(1)	●

事業番号	9-1	事業名	ホームページを活用した情報発信の充実
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・ホームページの運用、デザイン・構成等の随時見直し	<p>情報分類の見直し、市政情報や観光情報などの更新等を行った。また、機械判読しやすい形式で二次利用可能なオープンデータの公開を開始した。</p> <p>(3,770 千円)</p>		<p>情報分類の見直し、市政情報や観光情報などの更新等により、コンテンツの充実を図ることができた。また、オープンデータの公開開始により、利便性の向上を図ることができた。</p>

事業番号	9-2	事業名	協働推進事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・提案事業への助成と制度の全体的な見直し ・協働研修の実施 ・団体の組織強化 ・新規活動団体の育成 	<p>市民提案協働事業、新任職員対象研修、協働事業推進員対象研修、市民活動団体支援講座を実施した。</p> <p>(973 千円)</p>		<p>各種講座を実施し、市職員の意識改革、市民活動団体の基盤強化等を図った。</p>

事業番号	9-3	事業名	青梅ボランティア・市民活動センターの活動促進事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・青梅ボランティア・市民活動センターの機能向上	<p>広報おうめ等により、青梅ボランティア・市民活動センターの周知を図るとともに、運営費の助成を実施した。</p> <p>(17,474 千円)</p>		<p>ボランティア・市民活動センターに関し広く周知し、活動の促進を図ることができた。</p>

事業番号	9-4	事業名	婚活支援事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
・婚活事業への支援	<p>結婚を希望する独身の男女を対象とする結婚支援事業を実施した 2 団体に対し、補助を行なった。</p> <p>(348 千円)</p>		<p>補助金を交付した 2 団体の参加者、男 59 人、女 43 人、計 102 人に対して支援した。</p>

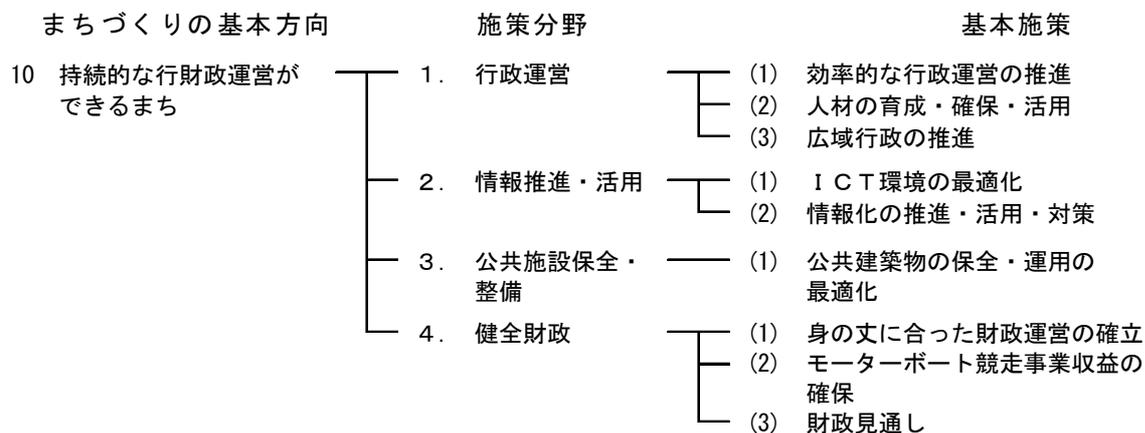
事業番号	9-5	事業名	自治会加入促進事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> パンフレット等の作成 新規加入者や退会者への対応策等を検討 自治会負担金の軽減 		返信ハガキ付き自治会加入パンフレットの転入者への配布、広報おうめへの自治会活動紹介記事の掲載、集会施設用地借上料の補助等を実施した。 (1,185 千円)		自治会ハンドブックおよび自治会活動事例集の配布により、広く自治会活動を周知することができた。また、集会施設用地借上料補助金により、引き続き自治会の経費負担を軽減できた。

事業番号	9-6	事業名	平和事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 中学生をヒロシマに派遣（羽村市合同事業） 各種平和事業の推進 		羽村市との合同事業として中学生をヒロシマに派遣し、被爆体験者との対話、平和記念資料館等の見学等を行った。また、共催により、平和写真展・講演会等の各種事業を実施した。 (5,009 千円)		中学生が広島を訪問し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて学習することができた。また、各種平和事業を通じて、広く平和思想の普及啓発を図ることができた。

事業番号	9-7	事業名	男女平等参画推進事業	
平成30年度事業計画		平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> 講座等の実施 情報紙の作成（年2回） 懇談会の開催等 女性活躍推進事業等 		第六次男女平等推進計画にもとづき、ワークライフバランス講座等各種講座を開催した。また、男女平等情報誌よつばの手紙の発行や、多様な性への啓発を行った。 (3,812 千円)		男女平等推進計画懇談会および検討委員会を開催し、5か年の総評を行うとともに30年度の事業予定を取りまとめた。多様な性への啓発等のリーフレットを作成、配布した。

第 10 章 持続的な行財政運営ができるまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

指 標	単位	過去	基本計画開始時点	現状	到達目標
市役所に対する印象として、仕事が早く効率が良いと思う市民の割合※	%	20.8	22.7	25.6	50.0
		H13 年度	H23 年度	H28 年度	R3 年度
経常収支比率	%	89.3	95.8	99.6	90.0
		H14 年度	H23 年度	H30 年度	R4 年度

※平成 23 年に実施した第 28 回市政総合世論調査までは「仕事の能率が良い」という項目を参照している。

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

1. 行政運営			
10-1	行財政改革推進事業	(1)	
2. 情報推進・活用			
10-2	業務システムの最適化	(1)	
10-3	地域の魅力発信事業	(2)	●
3. 公共施設保全・整備			
10-4	公共施設等マネジメント事業	(1)	●
4. 健全財政			

※公共施設等マネジメント事業(10-4)の事業費については、各施設所管課経費に含まれるため「-」で表記

事業番号	10-1	事業名	行財政改革推進事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・青梅市行財政改革推進委員会の開催（4回） ・取組項目等の検証・評価 	<p>青梅市行財政改革推進プラン（平成 25 年度～平成 29 年度）の取組項目の進捗結果のまとめを行った。青梅市行財政改革推進委員会を 4 回開催し、プランに掲載された 2 つの取組項目の検証作業を実施した。（393 千円）</p>		<p>青梅市行財政改革推進プラン（平成 25 年度～平成 29 年度）の取組結果を把握し、平成 30 年度改定版を作成した。委員会において 2 つの取組項目の検証結果を報告書にまとめ、市長に報告した。</p>

事業番号	10-2	事業名	業務システムの最適化
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・基幹系業務システム運用 ・各業務システム機器の統合、共有化 	<p>基幹系業務システムの運用を行った。 2 システムのサーバー機器を統合し、仮想基盤サーバーに集約した。 (203, 204 千円)</p>		<p>基幹系業務システム等について、効率的かつ安定的な運用を図ることができた。</p>

事業番号	10-3	事業名	地域の魅力発信事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の推進・検証 ・青梅市カレンダーの作成・配布 ・ふるさと納税の推進 	<p>地域の魅力発信の各種事業を推進した。青梅市公式キャラクターの L I N E スタンプを作成し販売した。返礼品の品数を増加し、カタログの作成・配布を行った。前年度寄付者へあいさつ文を送付した。（13, 381 千円）</p>		<p>L I N E スタンプは約 560 個販売できた。ふるさと納税は 835 件（対前年度+39 件）、31, 977 千円（+1, 961 千円）、企業版ふるさと納税は 18 件（+13 件）、4, 700 千円（+2, 900 千円）と増加した。</p>

事業番号	10-4	事業名	公共施設等マネジメント事業
平成30年度事業計画	平成 30 年度取組状況（事業費）		平成 30 年度事業成果
<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画の推進 	<p>青梅市公共施設等総合管理計画推進本部会議を 3 回開催し、個別施設の今後の方向性を協議した。 (-)</p>		<p>しろまえ児童学園や高齢者センターおよび地域保健福祉センターの入浴施設を廃止した。また、河辺町南自治会館を地元自治会へ移管し、計画の推進を図った。</p>

重要業績評価指標（K P I）の進ちょく状況

重要業績評価指標(K P I)は、青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、各施策の効果を客観的に検証できる指標として、総合戦略に定めた目標値のことであります。

なお、総合戦略の計画期間は平成 27(2015)年度から令和元(2019)年度までの 5 年間となっております。

【重要業績評価指標（K P I）】

指標（K P I）	単位	総合戦略 開始時点 (基準値)	現状	数値目標
保育所待機児童数 ○	人	20	4	0
		H27. 4. 1	H31. 4. 1	R2. 4. 1
学童保育所待機児童数 ○	人	194	73	0
		H27. 4. 1	H31. 4. 1	R2. 4. 1
合計特殊出生率		1. 27	1. 22	1. 32
		H26	H29	R1
「全国学力・学習状況調査」 における各教科の平均正答率		平均を下回 っている	平均を下回っ ている	平均を上回る
		H27年度	H30 年度	R1年度
生涯学習講座・教室受講者 数 ○	人	7, 092	5, 636	8, 100
		H26年度	H30 年度	R1年度
企業誘致条例を活用した誘 致企業数(累計)	件	3	4	6
		H27. 4. 1	H31. 4. 1	R2. 4. 1
民営従業者数(経済センサ ス) ○	人	52, 370	55, 506	53, 000
		H24	H26	H30
青梅市中心市街地活性化交 通量調査における青梅駅周 辺の歩行者通行量	人	18, 999	18, 999	20, 000
		H24年度	H24 年度	R2年度
青梅市の認知度	%	95. 1	95. 1	100
		H27年度	H27 年度	R2年度
転入超過率		△1. 2242	△1. 5960	0以上
		H26	H30	R1
空家の活用事例数(累計)	件	1	2	10
		H26年度	H30 年度	R1年度

指標(K P I)	単位	総合戦略 開始時点 (基準値)	現状	数値目標
J R 青梅線利用者数(河辺 駅・東青梅駅・青梅駅の乗 車人員) ○	人	26,984	26,689	26,900
		H26年度	H30年度	R1年度
自治会加入率	%	45	39.63	45%以上
		H27年度	H31年度	R1年度
交流・連携を目的とした自 治体との協定数		10	11	11以上
		H27年度	H30年度	R1年度

※○は、実施計画で設定したまちづくりの指標と共通の指標

施策連動型のしくみ

第6次青梅市総合長期計画では、基本構想に掲げるまちの将来像の実現に向けて、暮らしやすさの視点に立った、青梅らしさを醸し出すまちづくりを戦略的に進めるために、施策連動型のしくみ(ぷらっとフォーム)を展開していきます。

施策連動型のしくみ(ぷらっとフォーム)は、主要テーマ(安心して暮らせる青梅、子育て世代が住みたい青梅、生きる力がみなぎる青梅、みんなが誇れる青梅、何度も訪れたくなる青梅)のもとに参画する多様な主体が目標や目的を共有し、まちづくりにおけるそれぞれの役割を認識し、水平的なつながりの中で協力・連携(施策連動)する場として機能します。

平成30年度実施計画

平成30年度 重点事業等へのぷらっとフォームの活用

- 東青梅1丁目地内諸事業用地等の利活用など、市の重点事業にぷらっとフォームの仕組みを活用し、様々な主体が参画・連携・協働する体制を整える。
- 様々なテーマにもとづいたぷらっとカフェを開催し、多様な主体の話し合いの場でも出された意見、アイデアを事業の推進等に反映する。

平成30年度取組状況

- 東青梅1丁目地内諸事業用地等に建設予定の大型児童センターについてアイデアなどを集めるため、2回、ぷらっとカフェを実施した。
- 青梅市文化交流センターについて、話し合いの場を設定し、どのような場所になることを望むか意見等を集めた。
- 羽村市との共同事業「ファシリテーター養成講座」で育った市民ファシリテーターチームがぷらっとカフェの進行役を務めた。

平成30年度事業成果

- 市の重点事業の推進にプラットフォームの仕組みを活用することで、様々な意見を集めることができた。
- 市民ファシリテーターチームによる本格的なファシリテーションが実施されたことにより、地域住民が自ら進めるまちづくりの一形態を創ることができた。

第 6 次青梅市総合長期計画実施計画
平成 30 年度取組状況報告書

■発行者／青梅市

■発行日／令和元(2019)年 9 月

■企画編集／青梅市企画部企画政策課

〒198-8701 青梅市東青梅 1-11-1

TEL : 0428-22-1111(代表)